

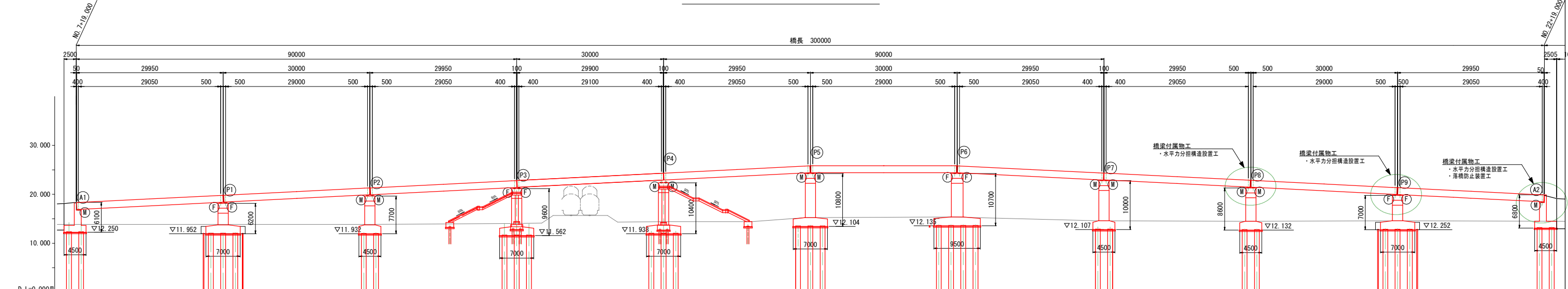
図面目録

工事名：橋りょう修繕工事（羽生跨線橋耐震補強工その8）

NO.	図面名	摘要
1	橋梁全体一般図	
2	落橋防止構造A2配置図	
3	落橋防止構造詳細図(1) 参考図	
4	落橋防止構造詳細図(2)	
5	落橋防止構造詳細図(3) 参考図	
6	落橋防止構造詳細図(4)	
7	落橋防止構造詳細図(5)	
8	落橋防止構造詳細図(6)	
9	水平力分担構造P8配置図	
10	水平力分担構造P9配置図	
11	水平力分担構造詳細図(1) 参考図	
12	水平力分担構造詳細図(2)	
13	水平力分担構造詳細図(3)	
14	水平力分担構造詳細図(4)	
15	水平力分担構造詳細図(5) 参考図	
16	水平力分担構造詳細図(6)	
17	水平力分担構造詳細図(7)	
18	水平力分担構造詳細図(8)参考図	

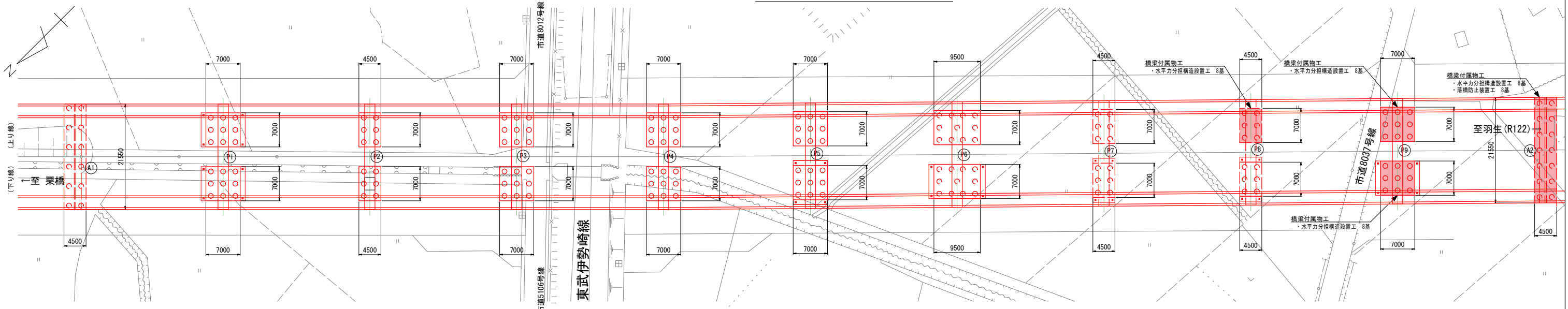
S= 1 : 400 (A1) , 1 : 800 (A3)

側面図

[illegible]

平面图

S=1 : 4



工事大要

工場製作工

橋梁付属物.

1式

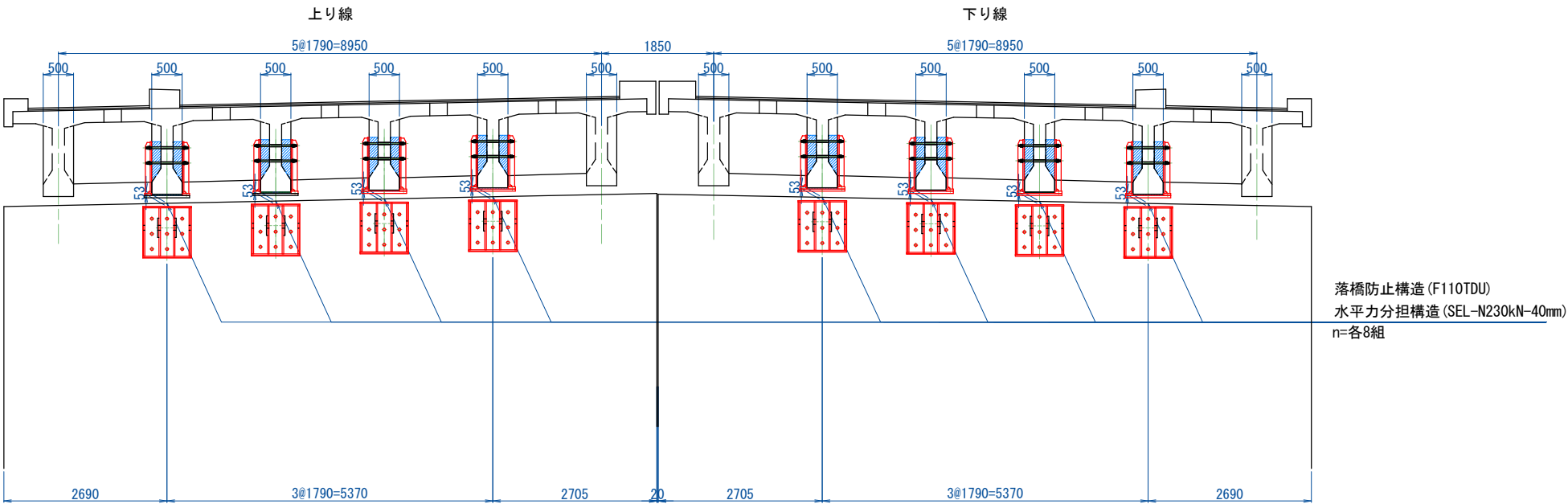
1式

工事名	令和8年度 橋りょう修繕工事 (羽生跨線橋耐震補強工その８)		
路線名	主要地方道羽生栗橋線		
工事箇所	羽生市中岩瀬地内		
図面名	橋 梁 全 体 一 般 図		
縮尺	S=1:400 (A1判)	図面番号	1 / 18
埼玉県行田県土整備事務所			

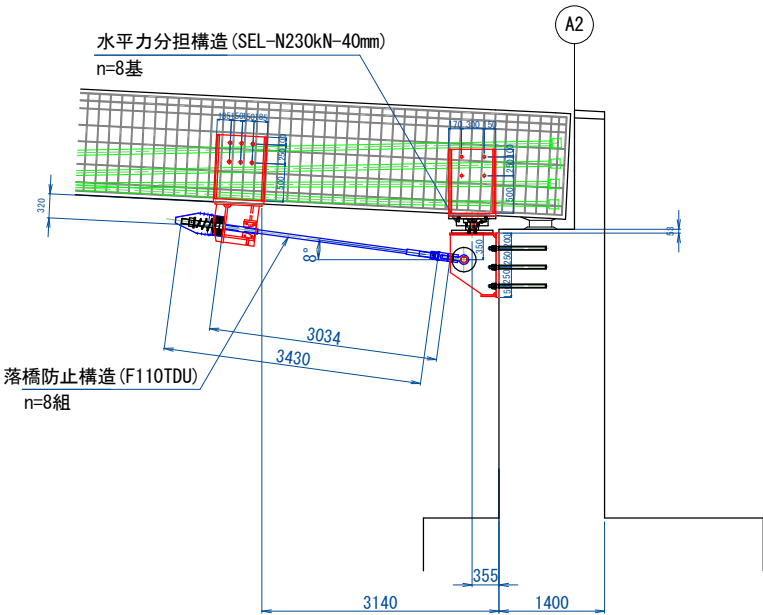
落橋防止構造A2配置図 S=1:50

断面図

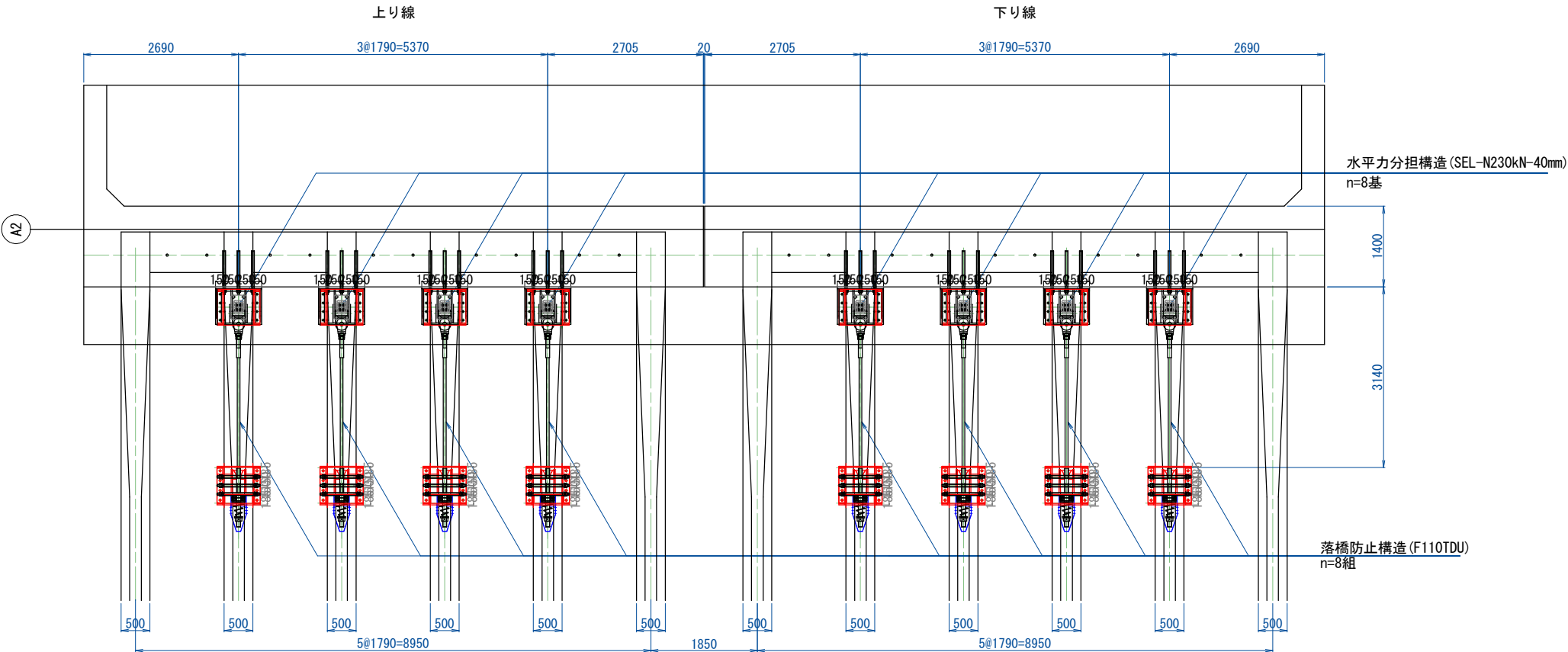
A2橋台：配置図



側面図



平面図



※ 水平力分担構造の配置図を兼ねる

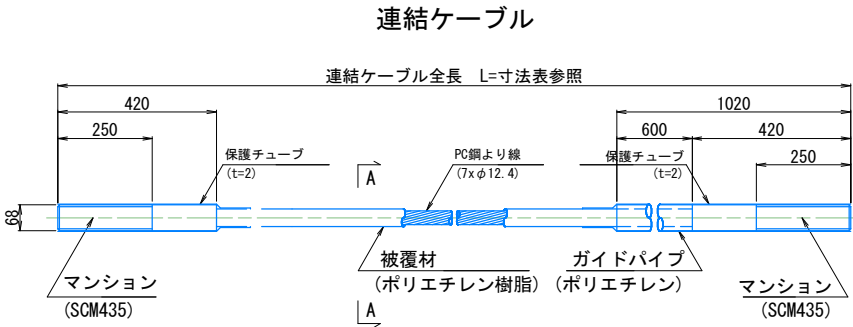
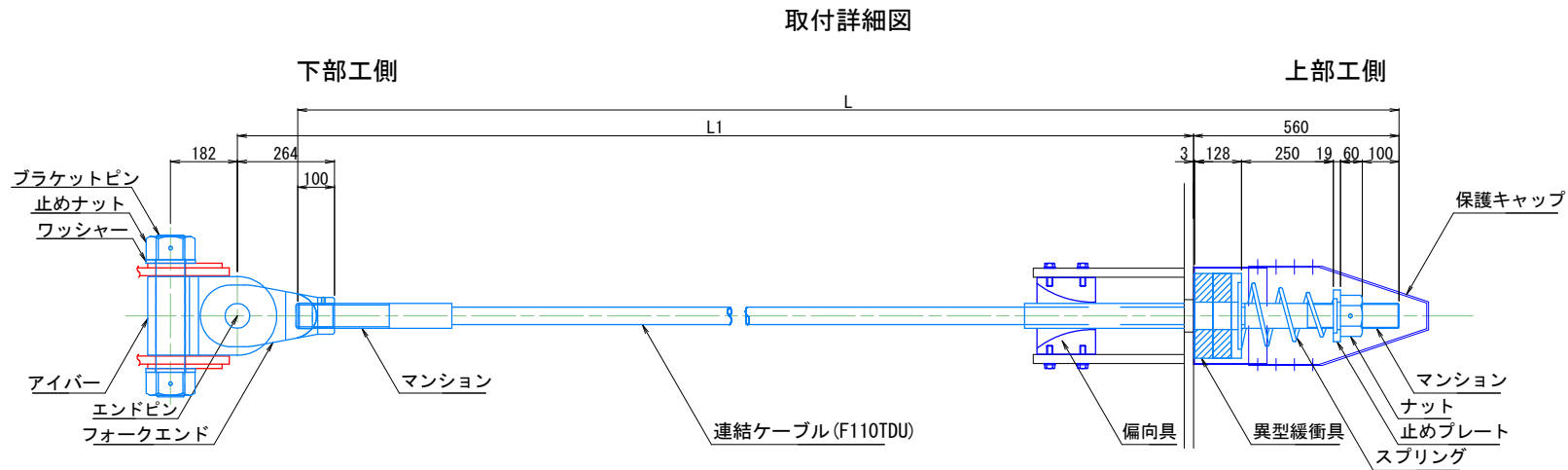
工事名	令和8年度 橋りょう修繕工事 (羽生跨線橋耐震補強工その8)
路線名	主要地方道羽生栗橋線
工事箇所	羽生市中岩瀬地内
図面名	落橋防止構造A2配置図
縮尺	S=1:50 (A1) S=1:100 (A3)
図面番号	2
18	
埼玉県行田県土整備事務所	

落橋防止構造詳細図(1) 参考図 S=1:10 (A1)

A2：取付詳細図及び部品図

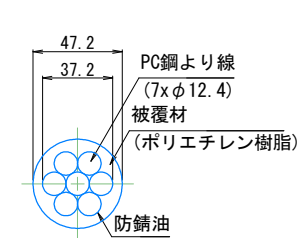
材 料 表 (落橋防止構造1組当たり)

名 称	規 格	単位	数量	摘 要
連結ケーブル	F110TDU L=寸法表参照	本	1	PC鋼より線, ポリエチレン被覆
(マンション)	F110TD用 標準	個	2	SCM435, ネジきり標準 <ケーブルに組込>
(ガイドパイプ)	F110TD用 600mm	本	1	ポリエチレン <ケーブルに組込>
ナット	F110TD用	個	1	S45C; 亜鉛めっき (HDZ55)
止めプレート	F110TD用	個	1	SS400; 亜鉛めっき (HDZ55)
スプリング	F110TD用 L=400	個	1	SW-C; 亜鉛めっき, クロメート処理
異型緩衝具	F110TD用	個	1	SS400; 亜鉛めっき (HDZ55) + 合成ゴム
偏向具	F110TD用	個	1	ポリエチレン
(取付ボルト)	M16x50 1W付	本	8	SS400相当品; 亜鉛めっき (HDZ35) 接着剤付
保護キャップ	F110TD用	組	1	ポリエチレン; 8-止めビス付
ユニバーサルシステム	ブラケットピン	F110TD用	本	1 SCM435, ダクロダイズド処理, DMコート
	止めナット	F110TD用	個	2 S45C, 亜鉛めっき (HDZ55)
	ワッシャー	F110TD用	個	2 SS400, 亜鉛めっき (HDZ55)
	アイバー	F110TD用	個	1 S45C, 亜鉛めっき (HDZ55)
	フォークエンド	F110TD用	個	1 S45C, 亜鉛めっき (HDZ55)
ユニバーサルシステム	エンドピン (ピン)	F110TD用	本	1 SCM435, ダクロダイズド処理, DMコート
	(止めプレート)	F110TD用	個	1 SS400, 亜鉛めっき

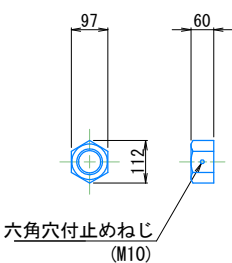


A-A断面図

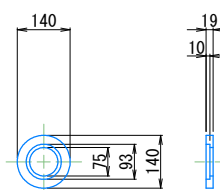
S=1:2



ナット (S45C: 亜鉛めっき)



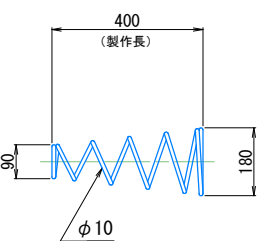
止めプレート (SS400相当品: 亜鉛めっき)



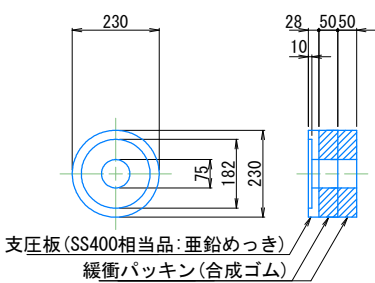
寸法表

			L	L1	
A1	上下線		3441	3045	①
P3	上下線	起点側	3370	2974	②
	上り線	終点側	3441	3045	①
	下り線		3440	3044	③
P4	上下線	起点側	3260	2864	④
		終点側	3441	3045	①
P7	上下線	起終点	3380	2984	⑤
A2	上下線		3430	3034	⑥

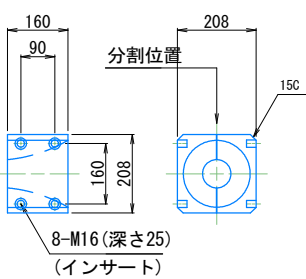
スプリング (SW-C: 亜鉛めっき, クロメート処理)



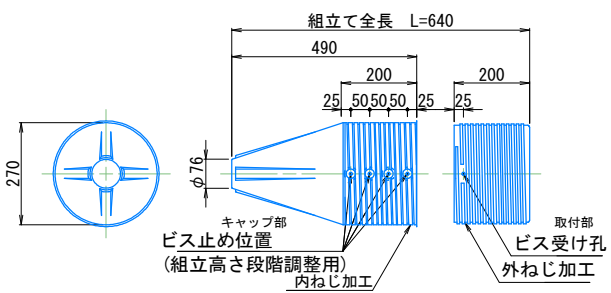
異型緩衝具 (支圧板+緩衝パッキン)



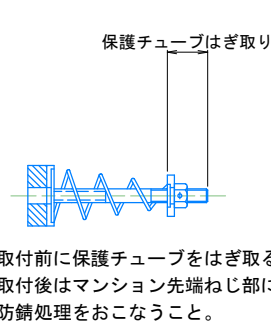
偏向具 (ポリエチレン)



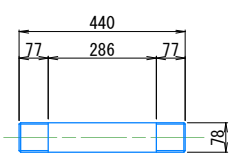
保護キャップ (ポリエチレン)



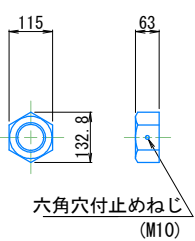
マンション端部処理



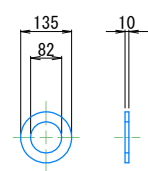
ブラケットピン (SCM435: DMコート)



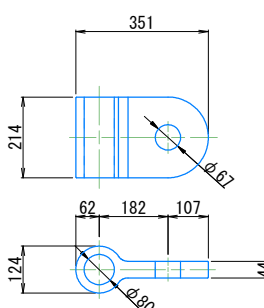
止めナット (S45C: 亜鉛めっき)



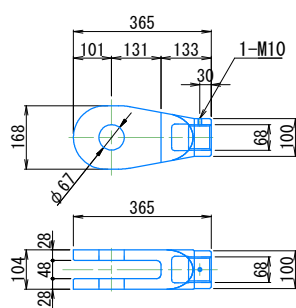
ワッシャー (SS400: 亜鉛めっき)



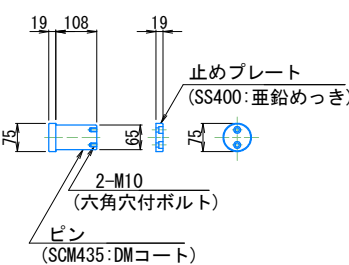
アイバー (S45C: 亜鉛めっき)



フォークエンド (S45C: 亜鉛めっき)



エンドピン (ピン+止めプレート)

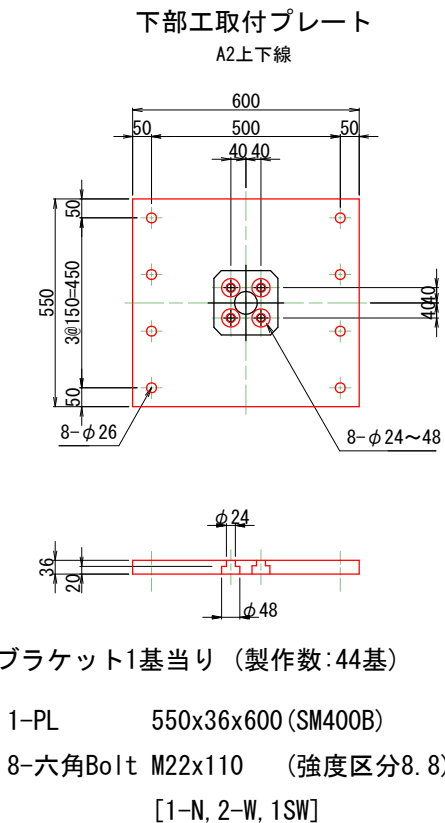
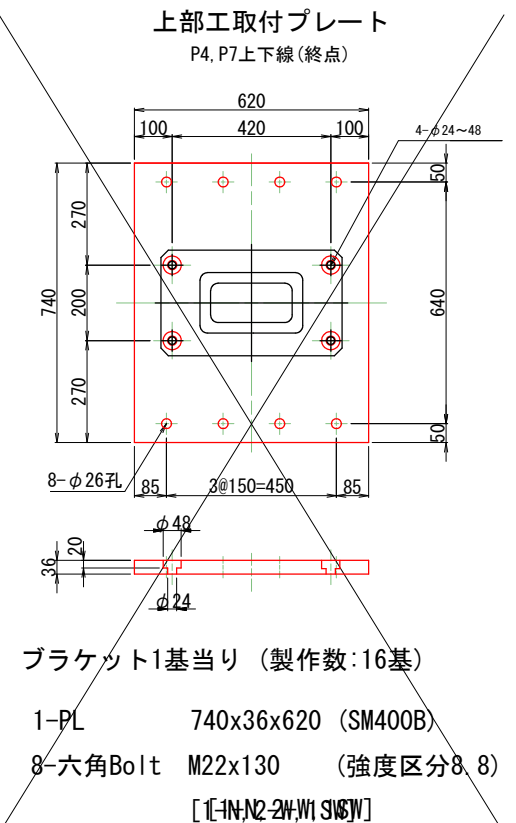
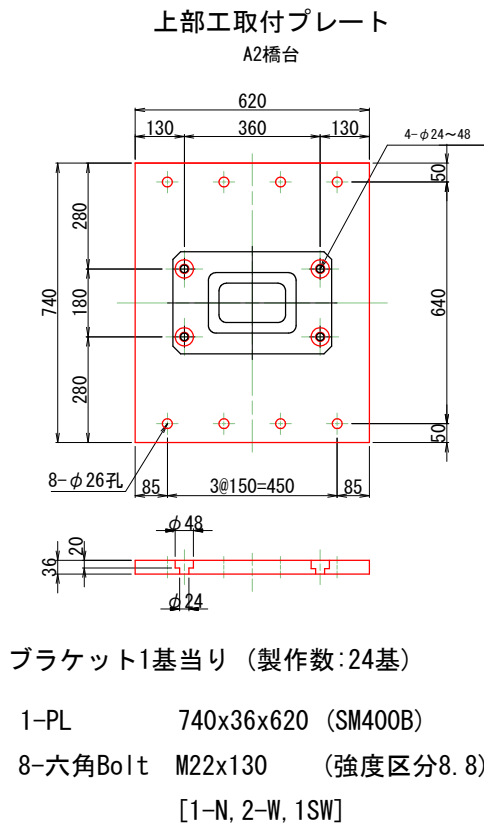
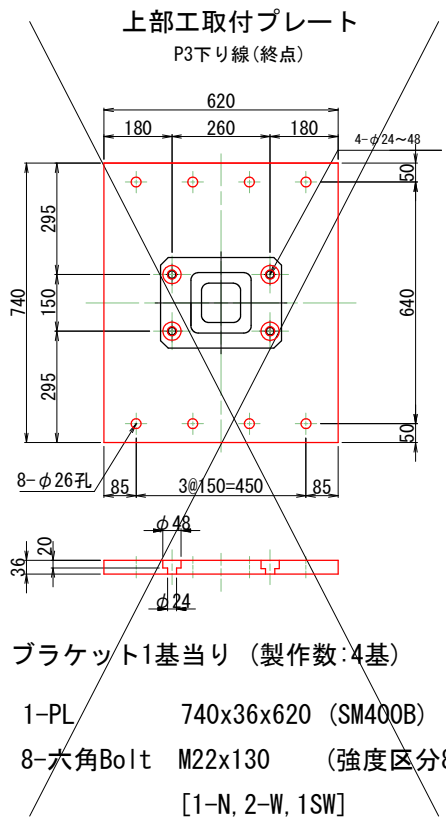
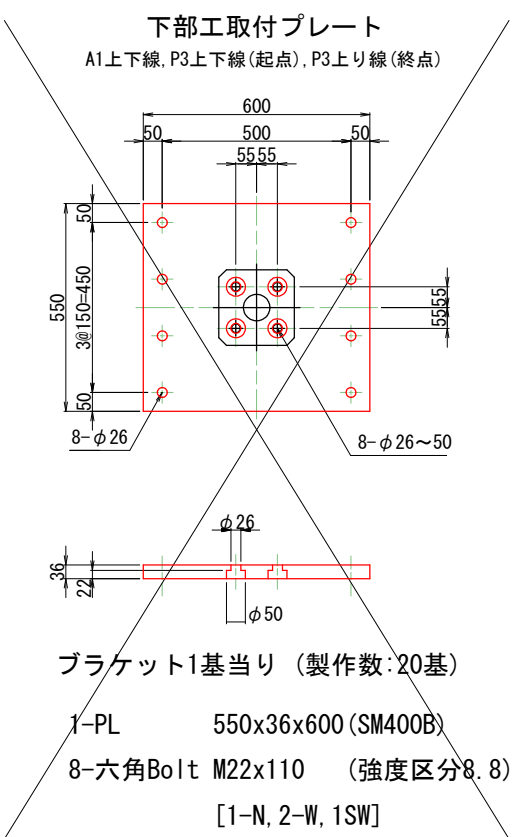
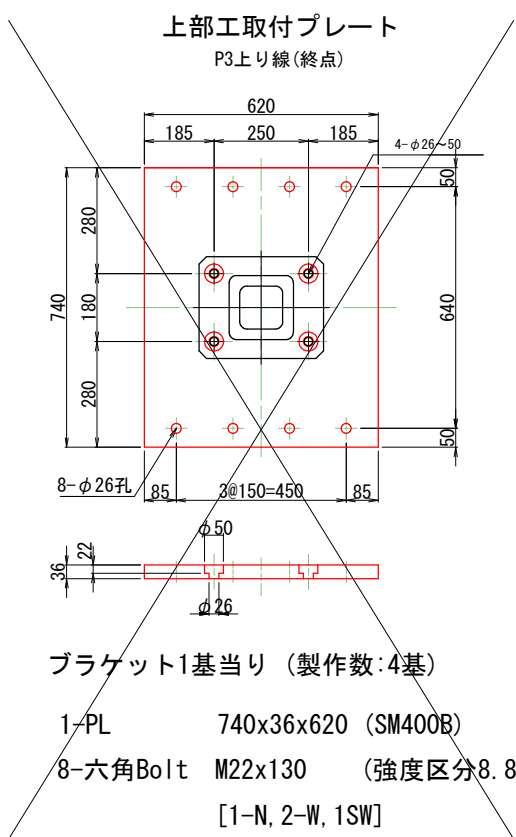
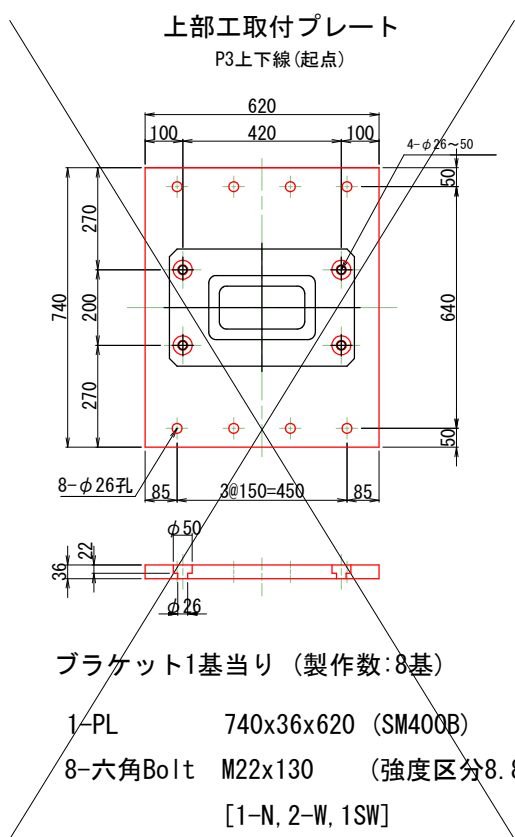
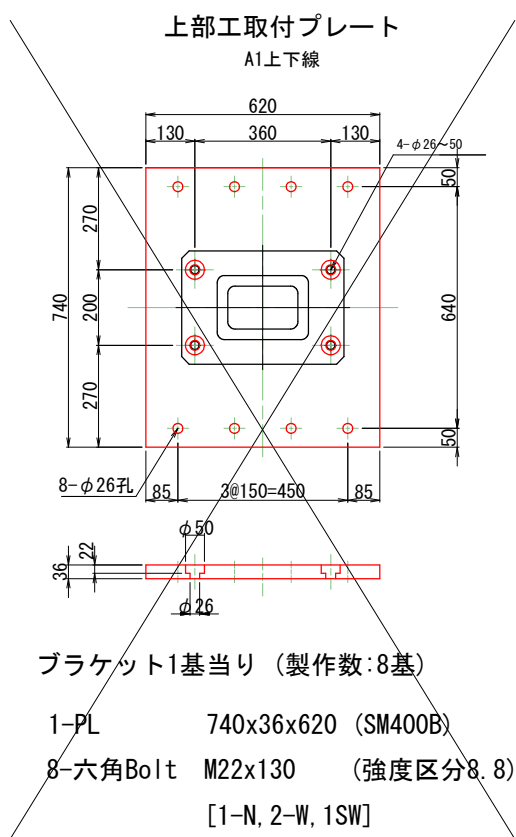


注記)

1. 連結ケーブルの製作は、現場にて取付間距離を確認のうえ、行うこと。

工 事 名	令和8年度 橋りょう修繕工事 (羽生跨線橋耐震補強工その8)
路 線 名	主要地方道羽生栗橋線
工事箇所	羽生市中岩瀬地内
図 面 名	落橋防止構造詳細図(1) 参考図
縮 尺	S = 1 : 10 (A1) S = 1 : 20 (A3)
図面番号	3
	18
埼玉県行田県土整備事務所	

落橋防止構造詳細図(2) S=1:10
取付プレート詳細図



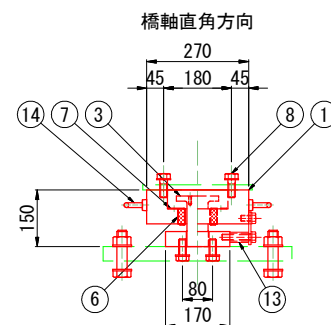
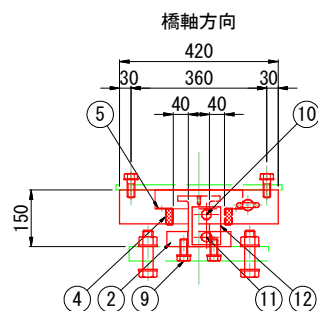
工事名	令和8年度 橋りょう修繕工事 (羽生跨線橋耐震補強工その8)		
路線名	主要地方道羽生栗橋線		
工事箇所	羽生市中岩瀬地内		
図面名	落橋防止構造詳細図(2)		
縮尺	S = 1 : 10 (A1) S = 1 : 20 (A3)	図面番号	4 / 18
埼玉県行田県土整備事務所			

落橋防止構造詳細図 (3) 参考図 S=1:10

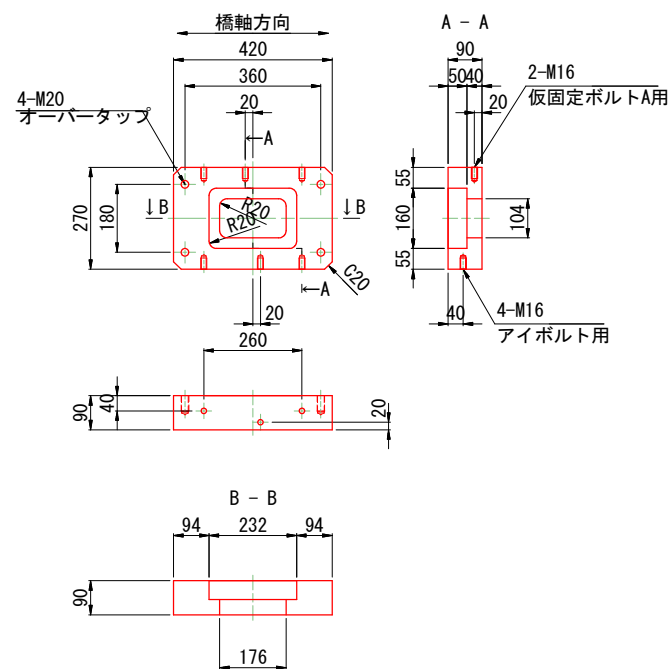
材 料 表 (SEリミッター1基当たり)

部番	名 称	規 格	単位	数量	摘 要
1	ソールプレート	SEL-N230-40	個	1	SM490A:亜鉛アルミ溶射処理
2	リミットピンプレート	SEL-N230用	個	1	SM490A:亜鉛アルミ溶射処理
3	リミットピン	SEL-N230用	本	1	SCM435相当品:ダクロタイズド処理, DMコート
4	バッファ―A	SEL-N230用	個	2	クロロブレンゴム
5	バッファ―ガイドA	SEL-N230用	個	2	SUS
6	バッファ―B	SEL-N230用	個	2	クロロブレンゴム
7	バッファ―ガイドB	SEL-N230用	個	2	SUS
8	セットボルト(上側)※	M20x60 1W, 1SW付	組	4	強度区分8. 8:亜鉛めっき (HDZ35)
9	セットボルト(下側)※	M20x45 1W付	組	4	強度区分8. 8:亜鉛めっき (HDZ35)
納入時用部材				※ボルトの首下長は、締め付ける板厚を確認の上決定すること。	
10	仮固定ボルトA				
11	仮固定ボルトB				
12	仮固定プレート				
13	スペーサー				
14	アイボルト				

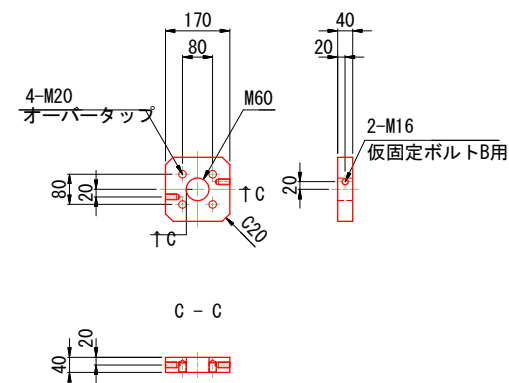
取付詳細図



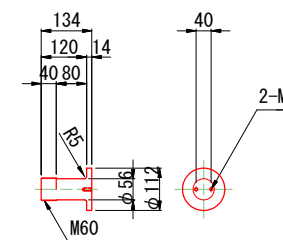
① ソールプレート
(SM490A:亜鉛アルミ溶射処理)



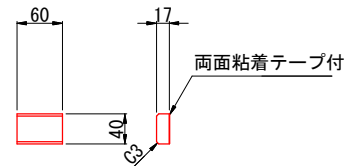
② リミットピンプレート
(SM490A:亜鉛アルミ溶射処理)



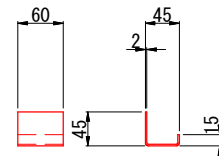
③ リミットピン
(SCM435相当品:DMコート)



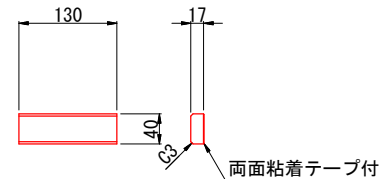
④ バッファ-A S=1:5
(クロロプレンゴム)



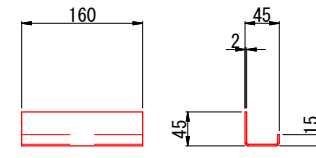
⑤ バッファガイドA S=1:5
(SUS)



⑥ バッファ- B $S=1:5$
(クロロプレンゴム)



⑦ バッファガイドB S=1:5
(SUS)



注記)

1. SEリミッターの納入時組立高さは、取付詳細図に示す製品高+10mm程度とする。
2. 据付時は仮固定ボルト他、納入時用部材を取り外し、所定の高さで設置すること。
3. 納入時用部材を取り外した後のタップ孔は樹脂ボルトもしくはバテ材で埋めること。

工 事 名	令和8年度 橋りょう修繕工事 (羽生線橋柵耐震補強その８)		
路 線 名	主要地方道羽生栗橋線		
工事箇所	羽生市中岩瀬地内		
図 面 名	落橋防止構造詳細図(3) 参考図		
縮 尺	S = 1 : 10外 (A1) S = 1 : 20外 (A3)	図面番号	5 / 18
埼玉県行田県土整備事務所			

落橋防止構造詳細図(4)

S=1:10

A2: ブラケット詳細図

2 - 2 上部エブラケット詳細図

3 - 3

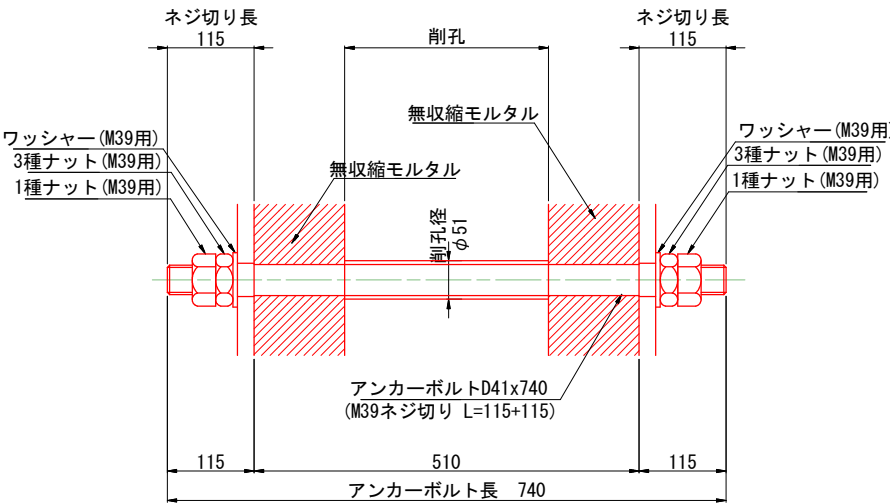
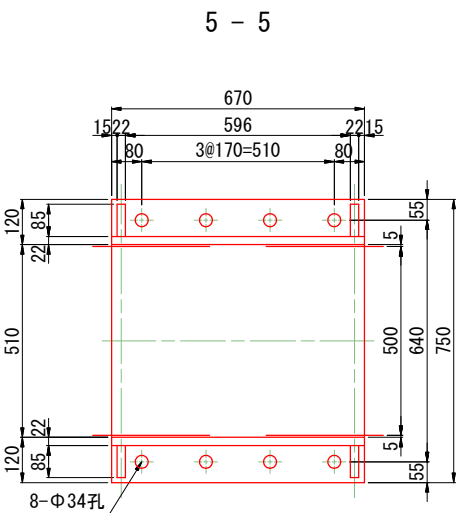
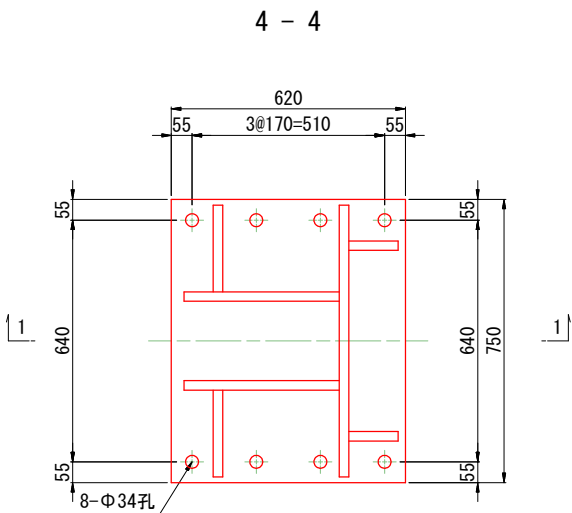
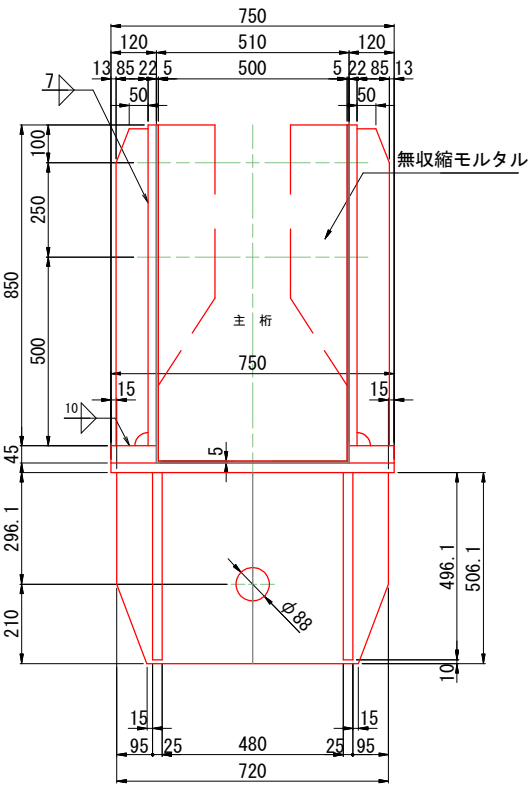
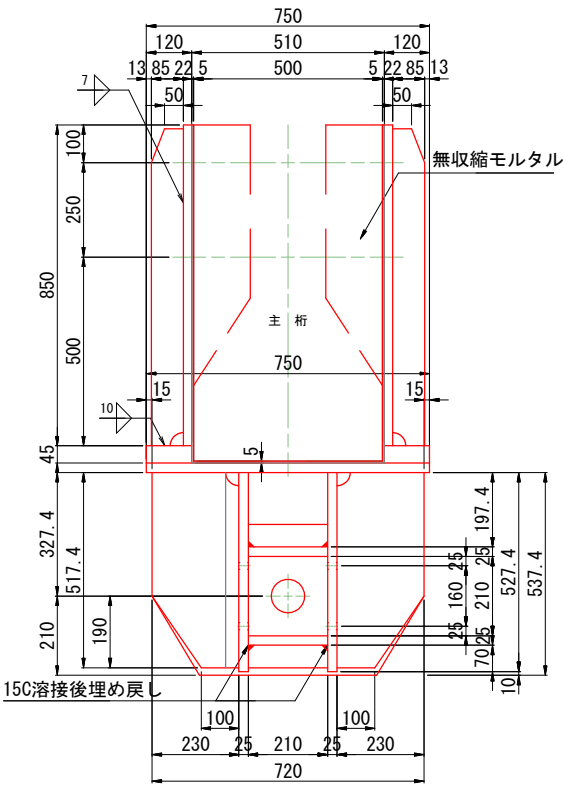
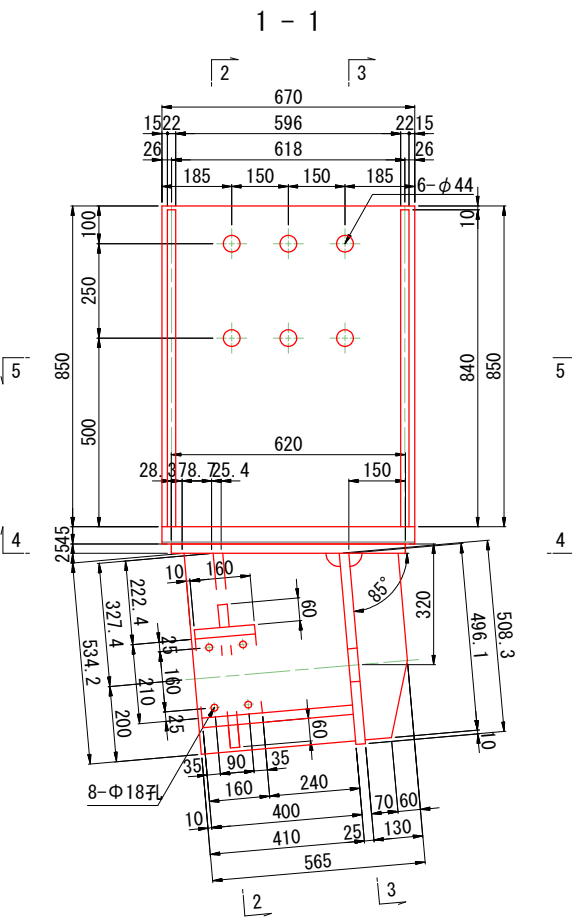
ブラケット1基当り(製作数:64基)

- 2-PL 130x25x497
- 2-PL 410x25x535
- 2-PL 230x25x518
- 2-PL 60x25x210
- 1-PL 210x25x400
- 1-PL 160x25x210
- 1-PL 509x25x720
- 1-PL 620x25x750
- 8-六角Bolt M30x130 (強度区分8.8)
[1-N, 2-W, 1SW]
- 2-PL 120x45x670 (SM520C)
- 4-PL 85x22x840
- 2-PL 670x22x850
- 6-AncBolt D41x740 (SD345)
- 12-1種 Nut M39用 (SS400)
- 12-3種 Nut M39用 (SS400)
- 12-Washer M39用 (SS400)

アンカーボルト詳細図 S=1:5

- 注記)
- 特記なき材質は全てSM400Aとする。
 - 特記なきスカーラップは35Rとする。
 - 部材は、全て溶融亜鉛メッキ仕上とする。
付着量は、JIS H8641 HDZ55とする。
ただし、ボルト・ナット類はHDZ35とする。
 - 工場製作は、現場実測確認のうえ行う。

工 事 名	令和8年度 橋りょう修繕工事 (羽生路線橋耐震補強工その8)		
路 線 名	主要地方道羽生栗橋線		
工事箇所	羽生市中岩瀬地内		
図 面 名	落橋防止構造詳細図(4)		
縮 尺	S=1:10外 (A1) S=1:20外 (A3)	図面番号	6 / 18
埼玉県行田県土整備事務所			

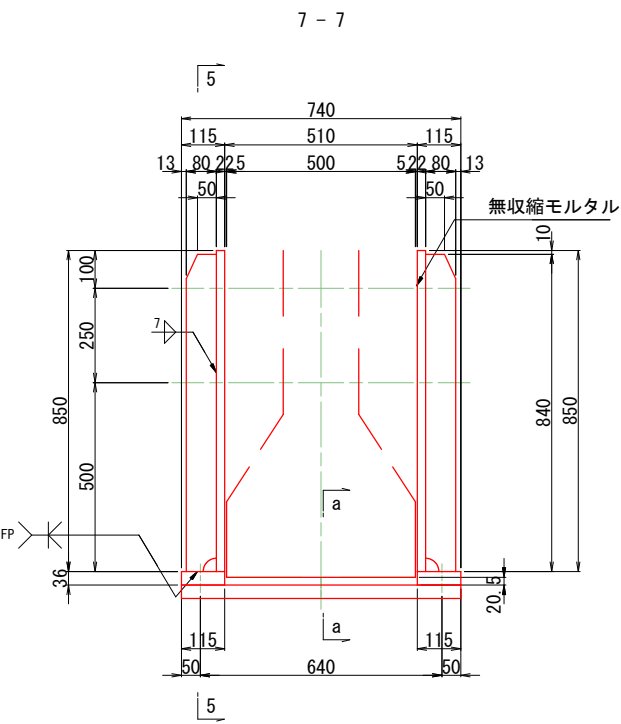
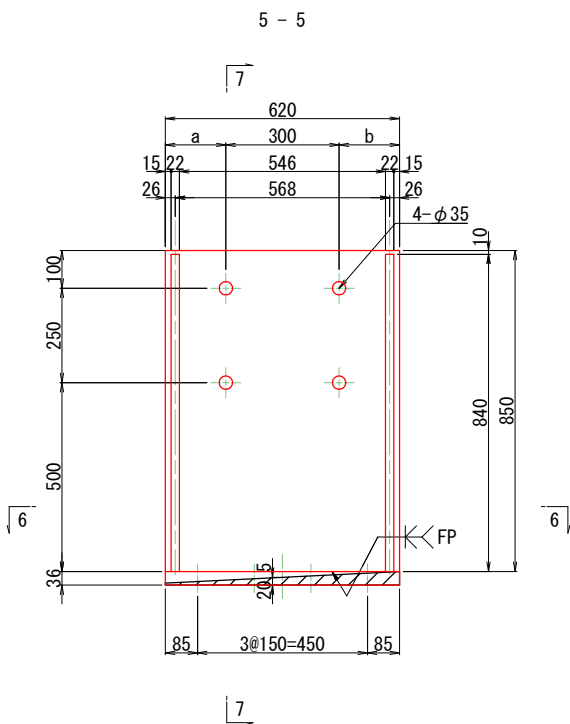


落橋防止構造詳細図(5)

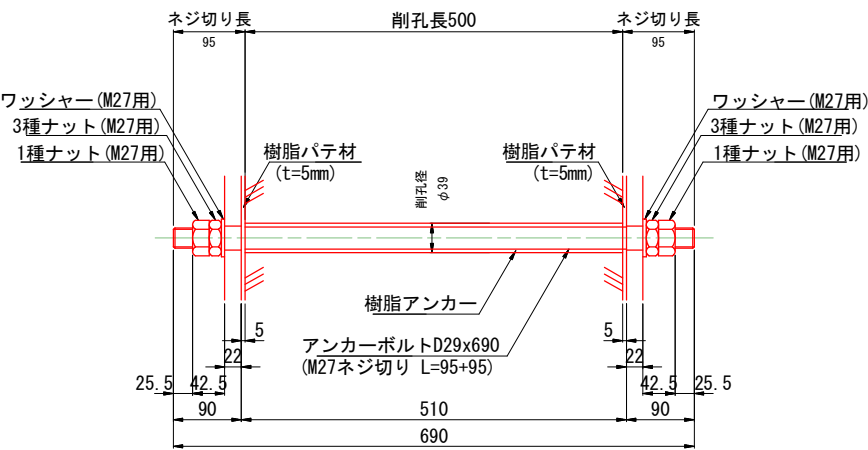
S=1:10

A2：サイドプレート詳細図

サイドプレート詳細図



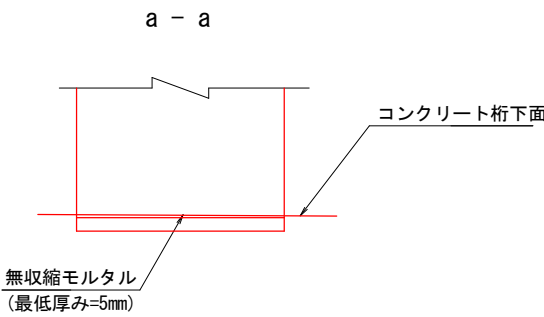
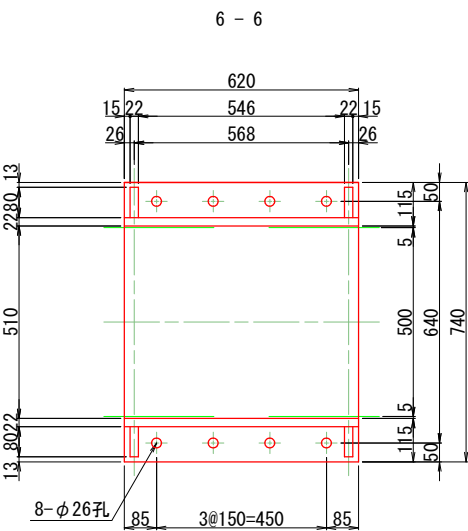
アンカーボルト詳細図 S=1:5



※アンカーボルトはネジ切り部のみ溶融亜鉛めっきを施すものとする。

ブラケット1基当り（製作数:64基）

- 4-Anc. Bolt D29x690 (SD345)
- 8-1種 Nut M27用 (SS400)
- 8-3種 Nut M27用 (SS400)
- 8-Washer M27用 (SS400)



ブラケット1基当り（製作数:64基）

- 2-PL 115x36x620 (SM400B)
- 4-PL 80x22x840
- 2-PL 620x22x850

寸法表

			a	b
A1	上下線		150	170
P3	上下線	起点側	170	150
		終点側	190	130
P4	上下線		170	150
P7	上下線	起点側	150	170
		終点側	170	150
A2	上下線		170	150

注記)

- 特記なき材質は全てSM400Aとする。
- 特記なきスカーラップは35Rとする。
- 部材は全て溶融亜鉛めっき仕上げとする。
亜鉛の付着量はJIS H 8641 HDZ55とする。
但し、ボルト・ナット類はHDZ35とする。
- 図中詳細寸法は、現地実測の上決定のこと。
- 既設コンクリートへの削孔の際には、鉄筋探索を実施し既設鉄筋は、切断しないこと。
また、既設鉄筋と干渉した場合は、アンカーボルト位置の調整を行うこと。

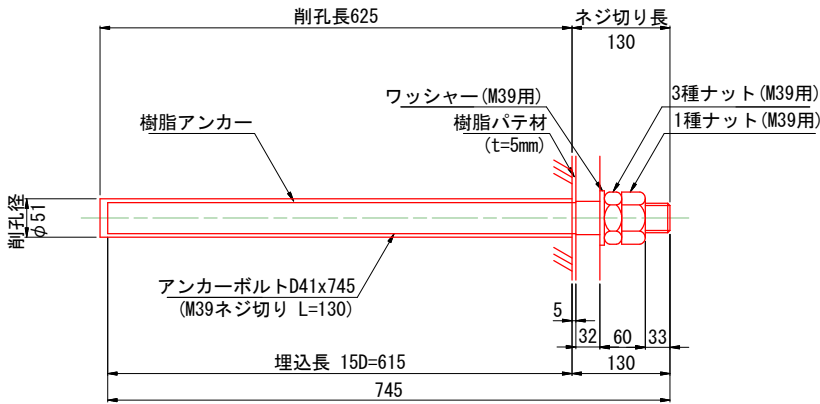
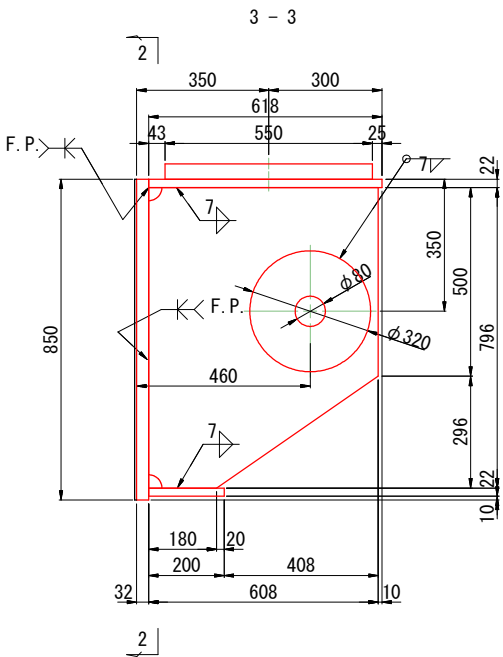
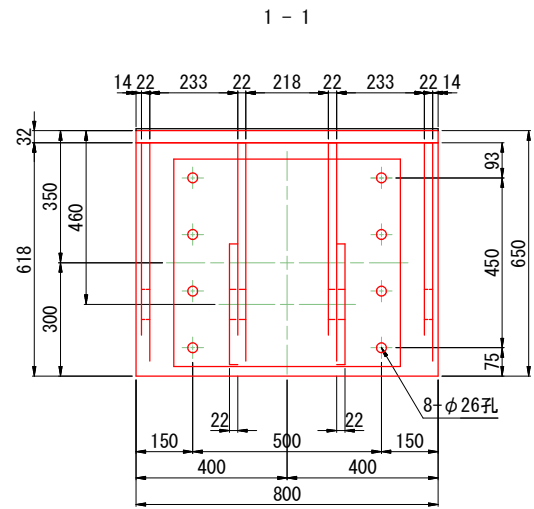
工 事 名	令和8年度 橋りょう修繕工事 (羽生跨線橋耐震補強工その8)		
路 線 名	主要地方道羽生栗橋線		
工事箇所	羽生市中岩瀬地内		
図 面 名	落橋防止構造詳細図(5)		
縮 尺	S = 1 : 10外 (A1) S = 1 : 20外 (A3)	図面番号	7 / 18
埼玉県行田県土整備事務所			

落橋防止構造詳細図(6) S=1:10
A2 : ブラケット詳細図

下部エブラケット詳細図

アンカーボルト詳細図

S=1:5

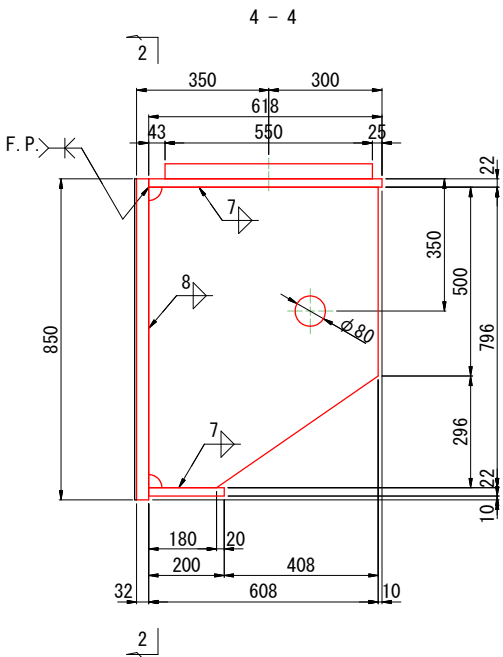
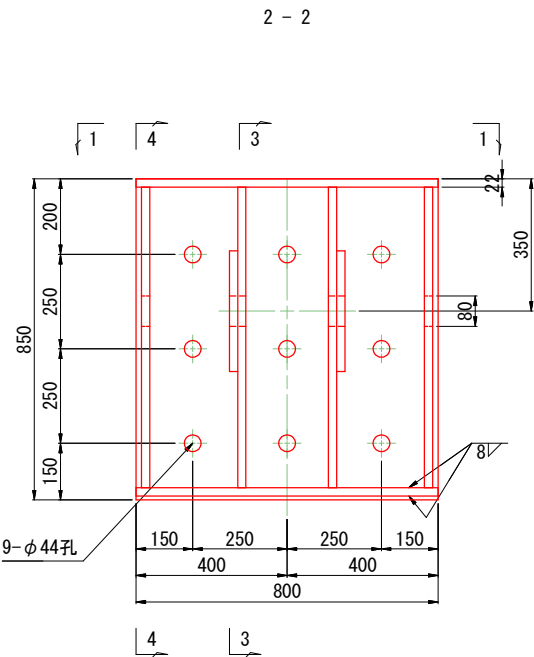


ブラケット1基当たり (製作数:64基)

1-PL	850x32x800	(SM490B)
1-PL	618x22x800	
1-PL	200x22x800	
4-PL	608x22x796	
2-PL	320x22x320	
9-AncBolt	D41x745	(SD345)
9-1種Nut	M39用	(SS400)
9-3種Nut	M39用	(SS400)
9-Washer	M39用	(SS400)

注記)

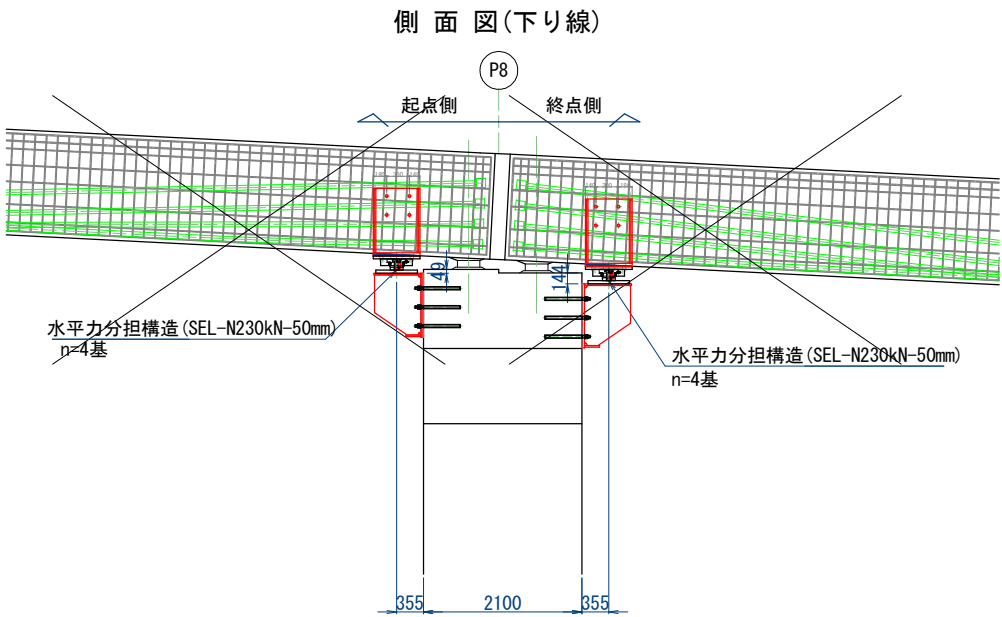
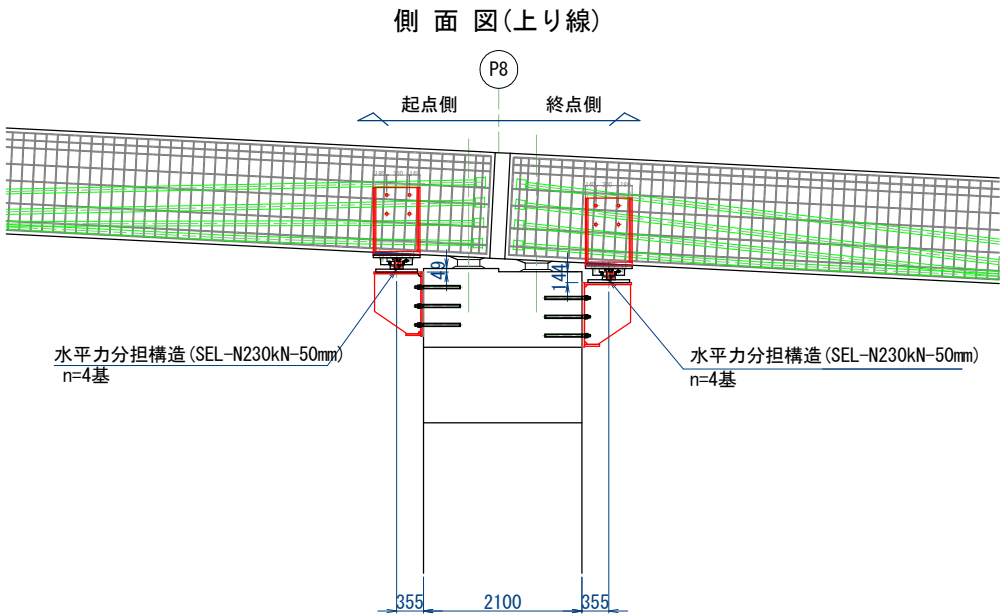
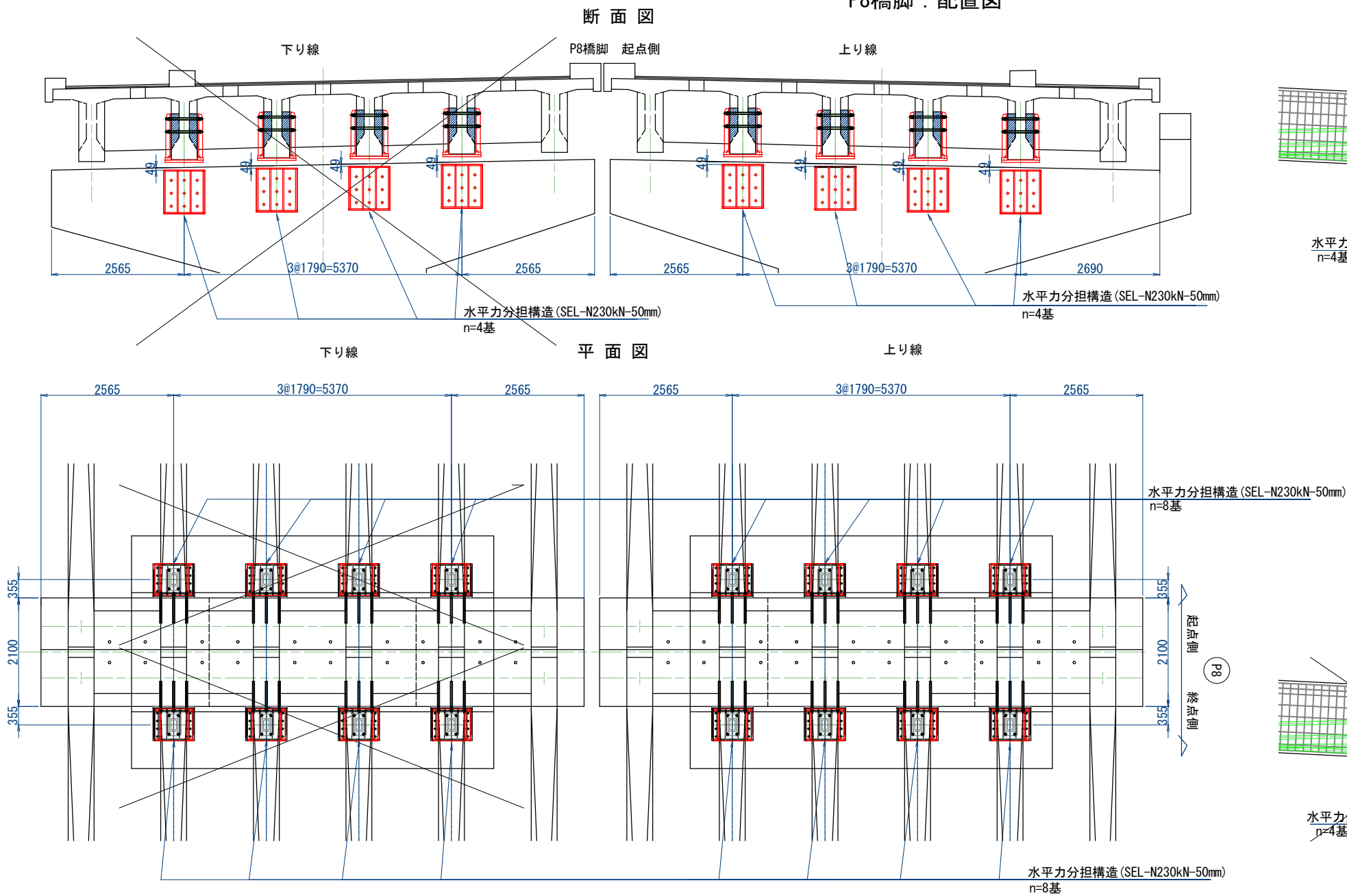
- 特記なき材質は全てSM490Aとする。
- 特記なきスカーラップは35Rとする。
- 部材は全て溶融亜鉛めっき仕上げとする。
亜鉛の付着量はJIS H 8641 HDZ55とする。
但し、ボルト・ナット類はHDZ35とする。
- 図中詳細寸法は、現地実測の上決定のこと。
- 既設コンクリートへの削孔の際には、鉄筋探索を実施し既設鉄筋は、切断しないこと。
また、既設鉄筋と干渉した場合は、アンカーボルト位置の調整を行うこと。



工 事 名	令和8年度 橋りょう修繕工事 (羽生跨線橋耐震補強工その8)
路 線 名	主要地方道羽生栗橋線
工事箇所	羽生市中岩瀬地内
図 面 名	落橋防止構造詳細図(6)
縮 尺	S = 1 : 10外 (A1) S = 1 : 20外 (A3)
図面番号	8
18	
埼玉県行田県土整備事務所	

水平力分担構造P8配置図 S=1 : 50

P8橋脚：配置図

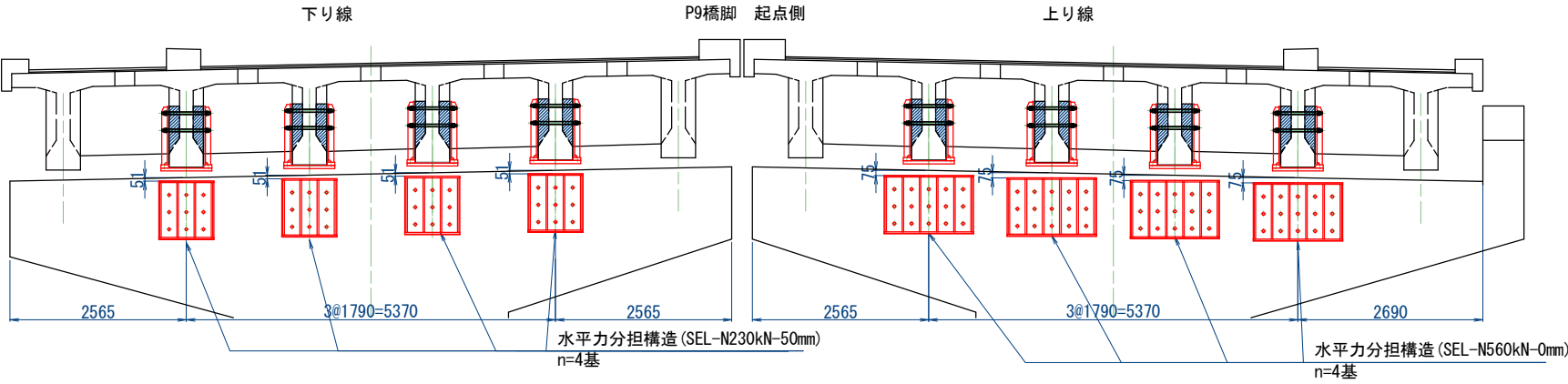


工事名	令和8年度 橋りょう修繕工事 (羽生跨線橋耐震補強工その8)		
路線名	主要地方道羽生栗橋線		
工事箇所	羽生市中岩瀬地内		
図面名	水平力分担構造P8配置図		
縮尺	S = 1 : 50 (A1) S = 1 : 100 (A3)	図面番号	9 / 18
埼玉県行田県土整備事務所			

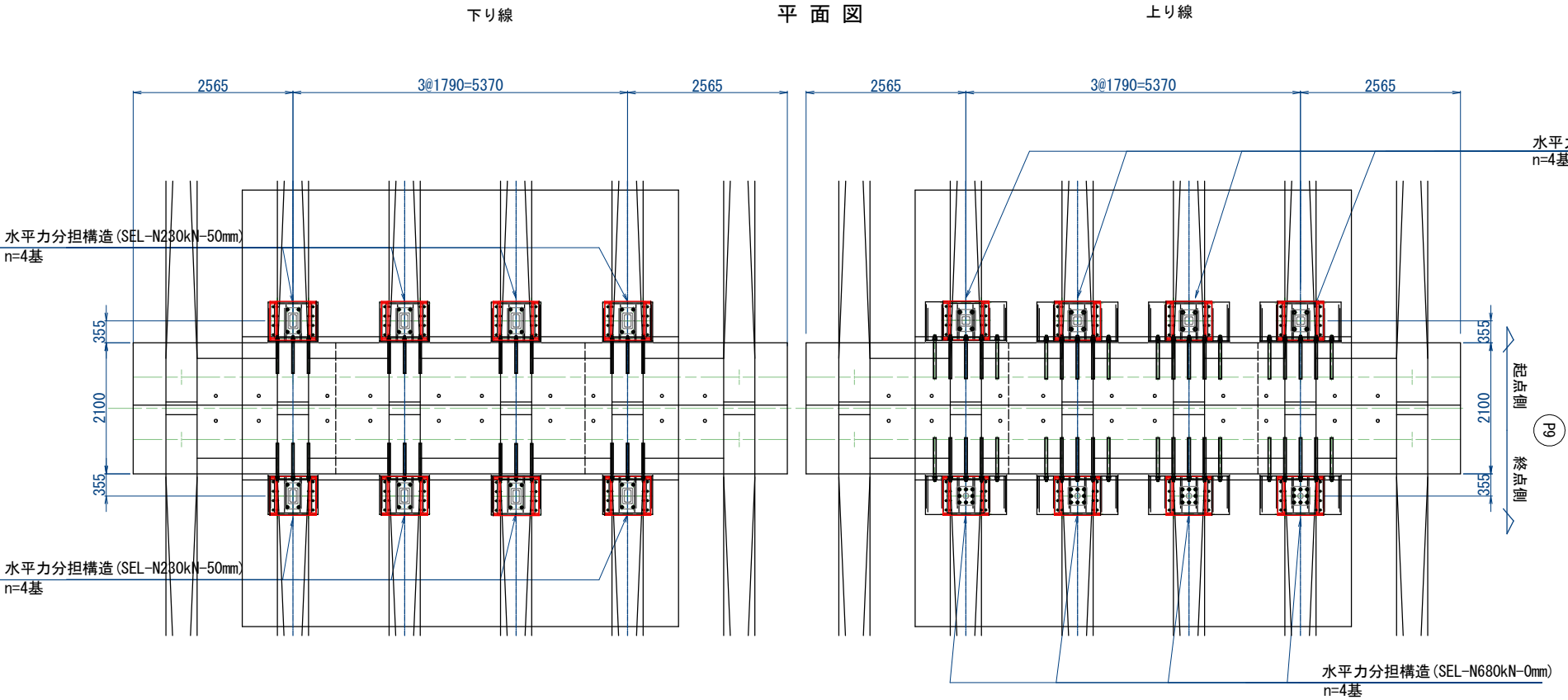
水平力分担構造P9配置図 S=1 : 50

P9橋脚：配置図

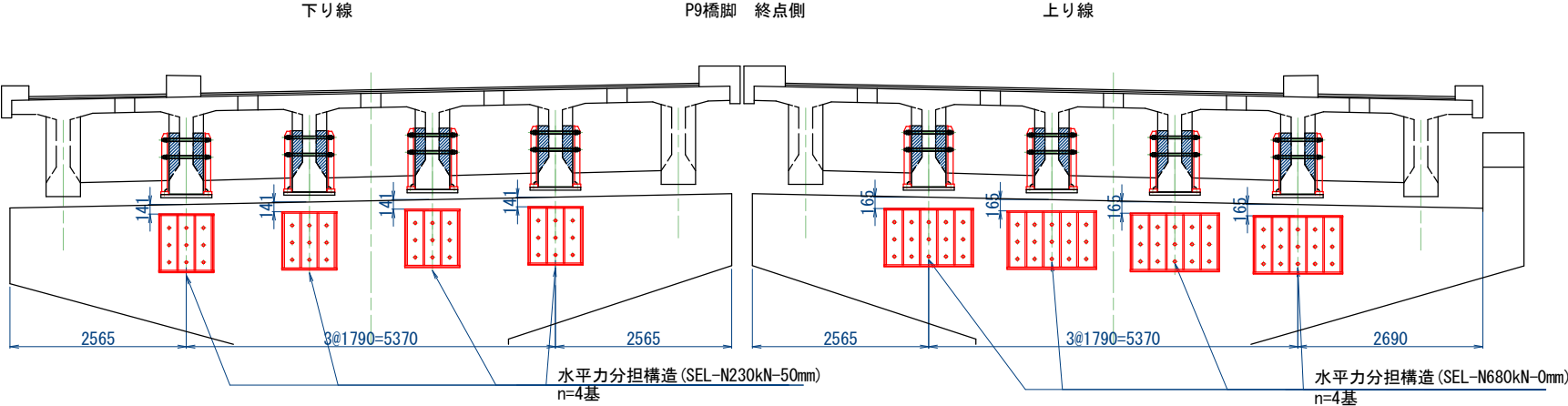
断面図



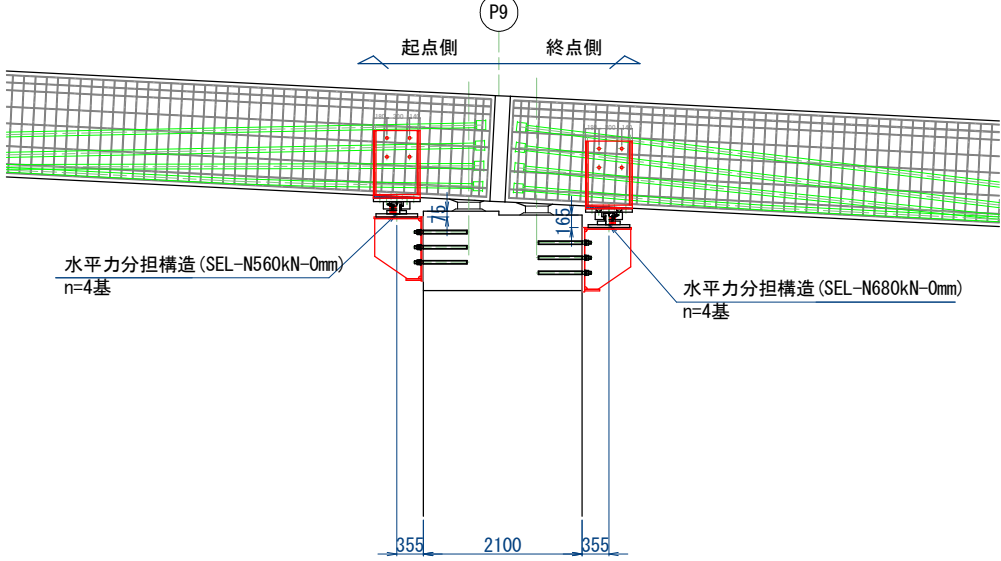
平面図



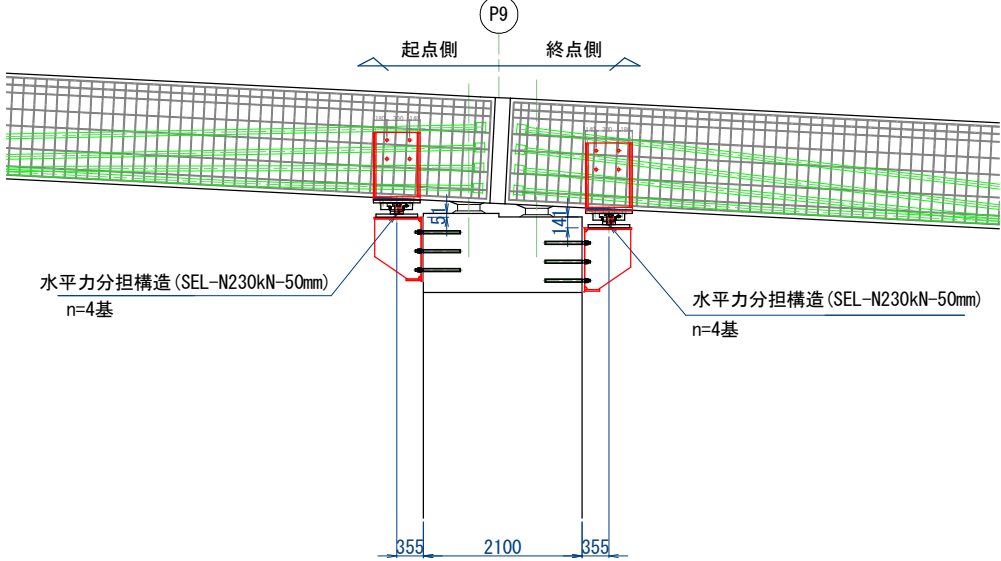
断面図



側面図(上り線)



側面図(下り線)



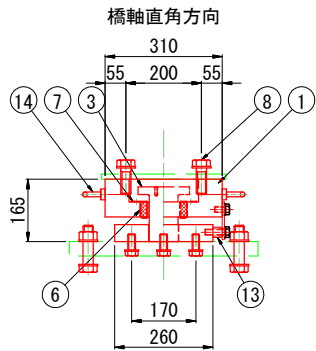
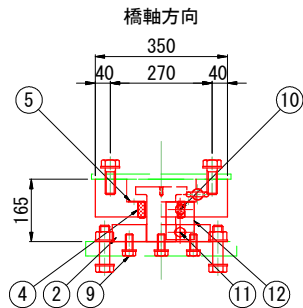
工事名	令和8年度 橋りょう修繕工事 (羽生跨線橋耐震補強工その8)		
路線名	主要地方道羽生栗橋線		
工事箇所	羽生市中岩瀬地内		
図面名	水平力分担構造 P 9 配置図		
縮尺	S = 1 : 50 (A1) S = 1 : 100 (A3)	図面番号	10 / 18
埼玉県行田県土整備事務所			

水平力分担構造詳細図(1) 参考図

P9(上り線 起点側) : SEリミッター(SEL-N560kN, 移動量0mm) 詳細図

S=1:10

取付詳細図

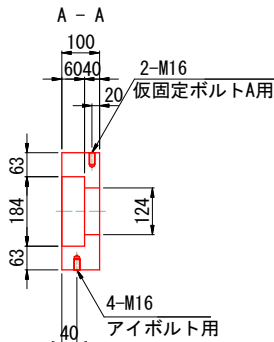
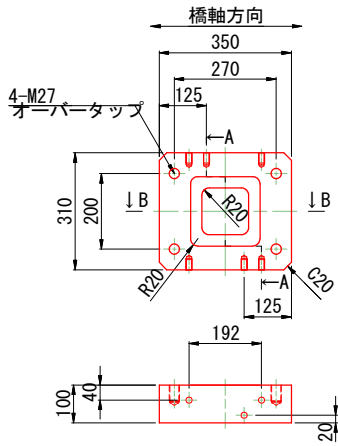


材 料 表 (SEリミッター1基当たり)

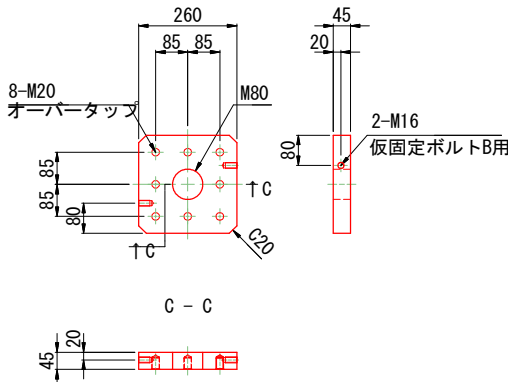
全8基

部番	名 称	規 格	単位	数量	摘 要
1	ソールプレート	SEL-N560-固定	個	1	SM490A: 亜鉛アルミ溶射処理
2	リミットピンプレート	SEL-N560用	個	1	SM490A: 亜鉛アルミ溶射処理
3	リミットピン	SEL-N560用	本	1	SCM435相当品: ダクロタイズド処理, DMコート
4	バッファーA	SEL-N560用	個	2	クロロブレンゴム
5	バッファーガイドA	SEL-N560用	個	2	SUS
6	バッファーB	SEL-N560用	個	2	クロロブレンゴム
7	バッファーガイドB	SEL-N560用	個	2	SUS
8	セットボルト(上側)※	M27x65 1W, 1SW付	組	4	強度区分8. 8: 亜鉛めっき (HDZ35)
9	セットボルト(下側)※	M20x50 1W付	組	8	強度区分8. 8: 亜鉛めっき (HDZ35)
納入時用部材					※ボルトの首下長は、締め付ける板厚を確認の上決定すること。
10	仮固定ボルトA				
11	仮固定ボルトB				
12	仮固定プレート				
13	スペーサー				
14	アイボルト				

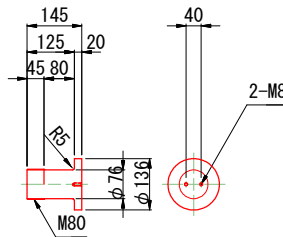
① ソールプレート
(SM490A: 亜鉛アルミ溶射処理)



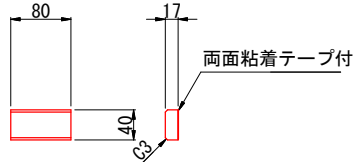
② リミットピンプレート
(SM490A: 亜鉛アルミ溶射処理)



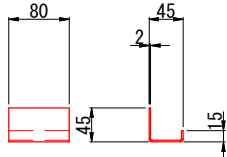
③ リミットピン
(SCM435相当品: DMコート)



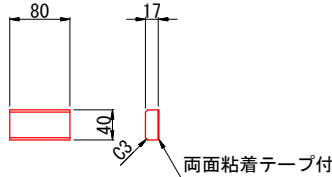
④ バッファーA
(クロロブレンゴム) S=1:5



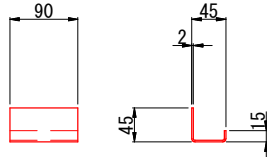
⑤ バッファーガイドA
(SUS) S=1:5



⑥ バッファーB
(クロロブレンゴム) S=1:5



⑦ バッファーガイドB
(SUS) S=1:5



注記)

- SEリミッターの納入時組立高さは、取付詳細図に示す製品高+10mm程度とする。
- 据付時は仮固定ボルト他、納入時用部材を取り外し、所定の高さで設置すること。
- 納入時用部材を取り外した後のタップ孔は樹脂ボルトもしくはパテ材で埋めること。

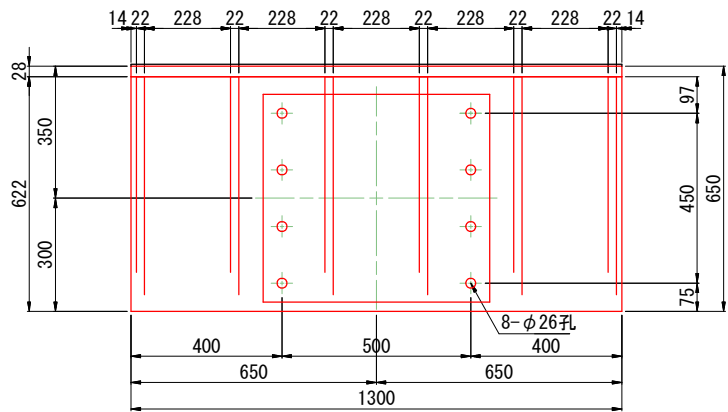
工 事 名	令和8年度 橋りょう修繕工事 (羽生跨線橋耐震補強工その8)		
路 線 名	主要地方道羽生栗橋線		
工事箇所	羽生市中岩瀬地内		
図 面 名	水平力分担構造詳細図(1)参考図		
縮 尺	1:10外 (A1) 1:20外 (A3)	図面番号	11 / 18
埼玉県行田県土整備事務所			

水平力分担構造詳細図(2)

P9(上り線)：ブラケット詳細図

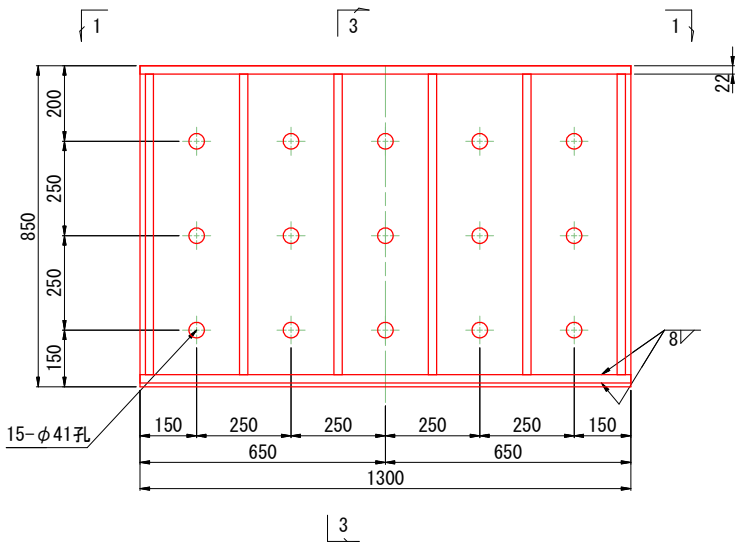
S=1:10

1 - 1 下部エブラケット詳細図

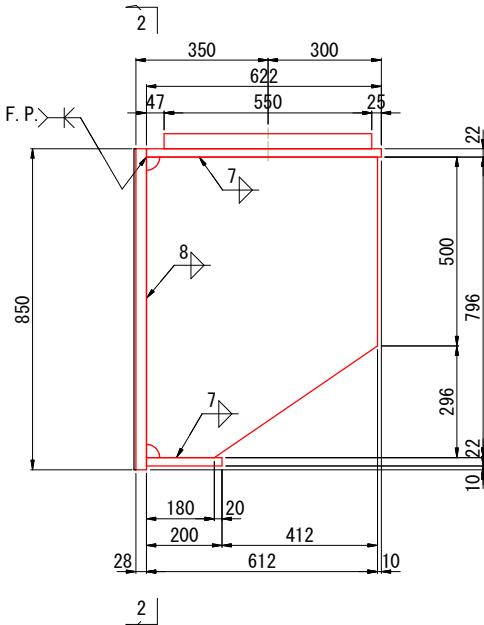


- ブラケット1基当り (製作数:12基)
- 1-PL 850x28x1300
 - 1-PL 622x22x1300
 - 1-PL 200x22x1300
 - 6-PL 612x22x 796
 - 15-AncBolt D38x690 (SD345)
 - 15-1種Nut M36用 (SS400)
 - 15-3種Nut M36用 (SS400)
 - 15-Washer M36用 (SS400)

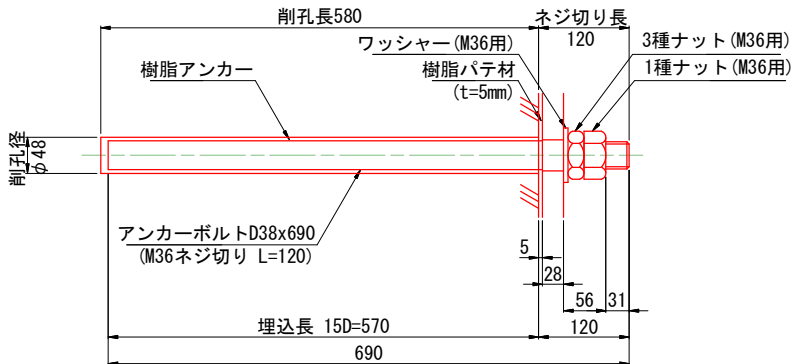
2 - 2



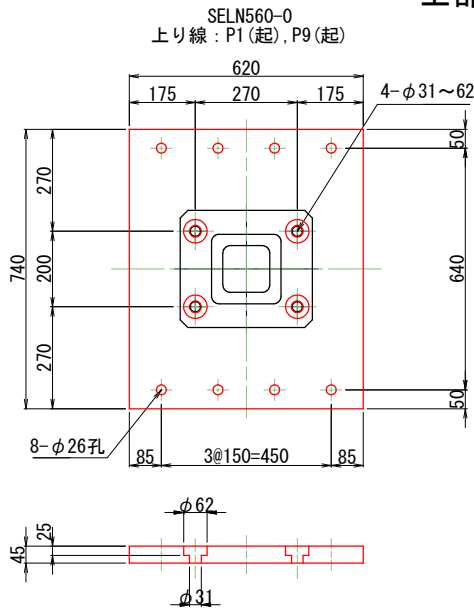
3 - 3



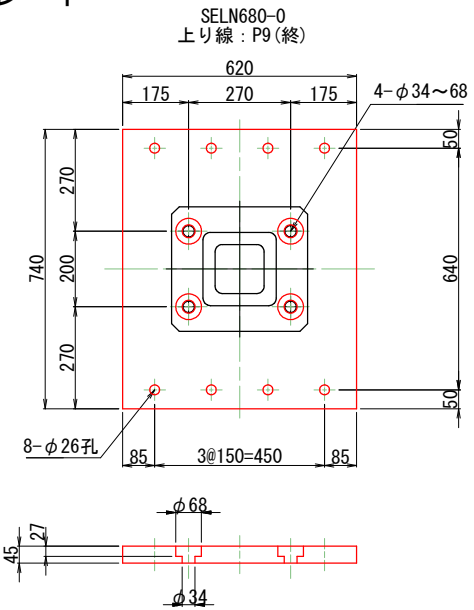
アンカーボルト詳細図 S=1:5



上部工取付プレート

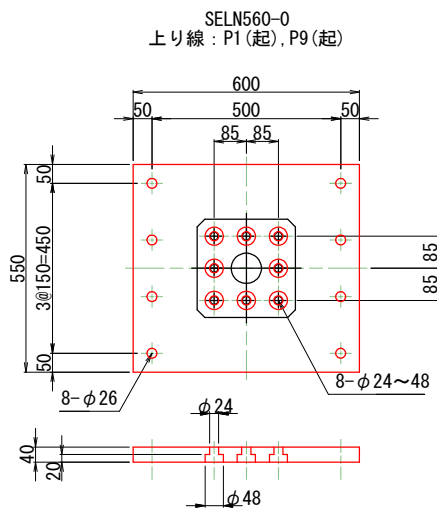


- ブラケット1基当り (製作数:8基)
- 1-PL 740x45x620 (SM400C)
 - 8-六角Bolt M22x140 (強度区分8.8)
 - [1-N, 2-W, 1SW]

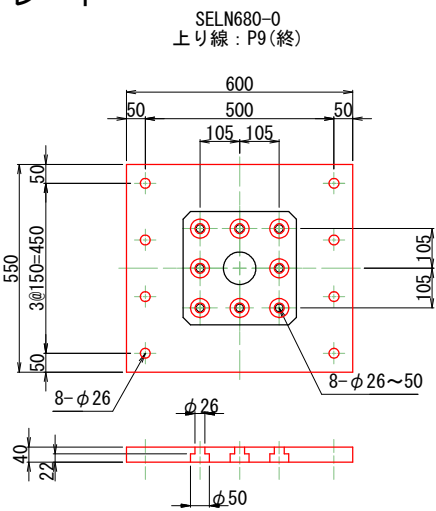


- ブラケット1基当り (製作数:4基)
- 1-PL 740x45x620 (SM400C)
 - 8-六角Bolt M22x140 (強度区分8.8)
 - [1-N, 2-W, 1SW]

下部工取付プレート



- ブラケット1基当り (製作数:8基)
- 1-PL 550x40x600 (SM400B)
 - 8-六角Bolt M22x120 (強度区分8.8)
 - [1-N, 2-W, 1SW]



- ブラケット1基当り (製作数:4基)
- 1-PL 550x40x600 (SM400B)
 - 8-六角Bolt M22x120 (強度区分8.8)
 - [1-N, 2-W, 1SW]

- 注記
- 特記なき材質は全てSM400Aとする。
 - 特記なきスカーラップは35Rとする。
 - 部材は全て溶融亜鉛めっき仕上げとする。
亜鉛の付着量はJIS H 8641 HDZ55とする。
但し、ボルト・ナット類はHDZ35とする。
 - 図中詳細寸法は、現地実測の上決定のこと。
 - 既設コンクリートへの削孔の際には、鉄筋探索を実施し既設鉄筋は、切断しないこと。
また、既設鉄筋と干渉した場合は、アンカーボルト位置の調整を行うこと。

工事名	令和8年度 橋りょう修繕工事 (羽生跨線橋耐震補強工その8)
路線名	主要地方道羽生栗橋線
工事箇所	羽生市中岩瀬地内
図面名	水平力分担構造詳細図(2)
縮尺	S = 1 : 10外 (A1) S = 1 : 20外 (A3)
図面番号	12 / 18
埼玉県行田県土整備事務所	

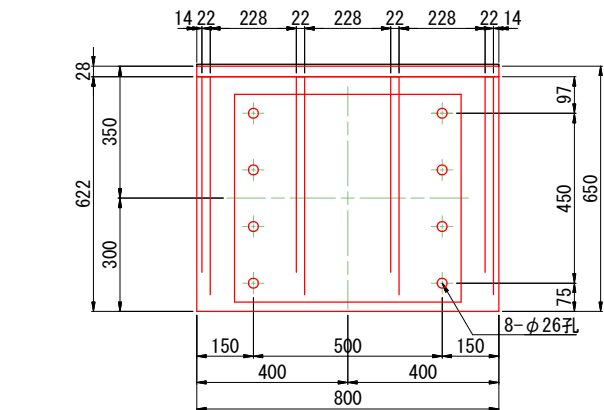
水平力分担構造詳細図(3)

S=1:10

P8：ブラケット詳細図

1 - 1

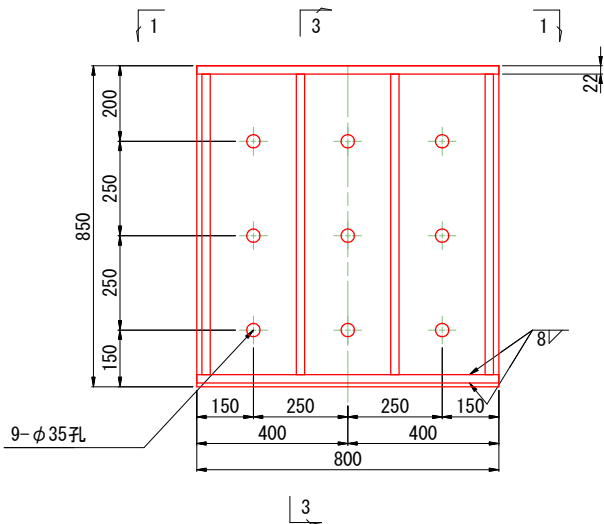
下部エブラケット詳細図



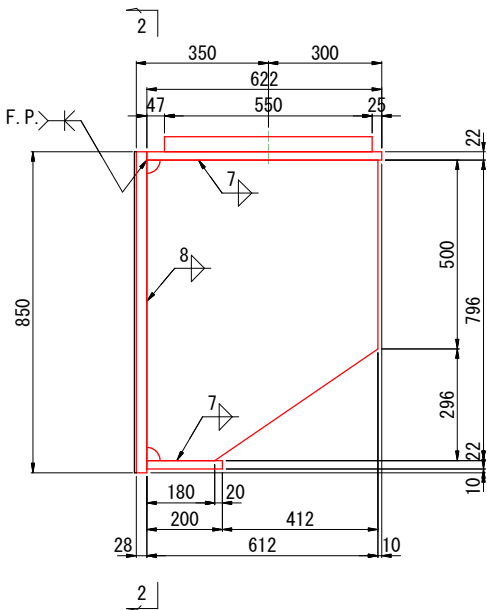
ブラケット1基当り (製作数36基)

- 1-PL 850x28x800
- 1-PL 622x22x800
- 1-PL 200x22x800
- 4-PL 612x22x796
- 9-Anc Bolt D32x590 (SD345)
- 9-1種Nut M30用 (SS400)
- 9-3種Nut M30用 (SS400)
- 9-Washer M30用 (SS400)

2 - 2

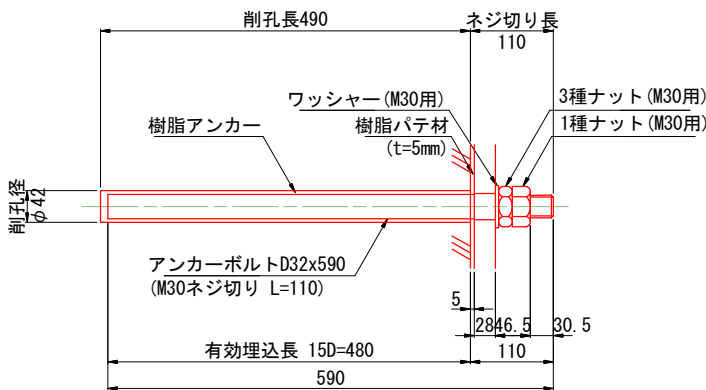


3 - 3



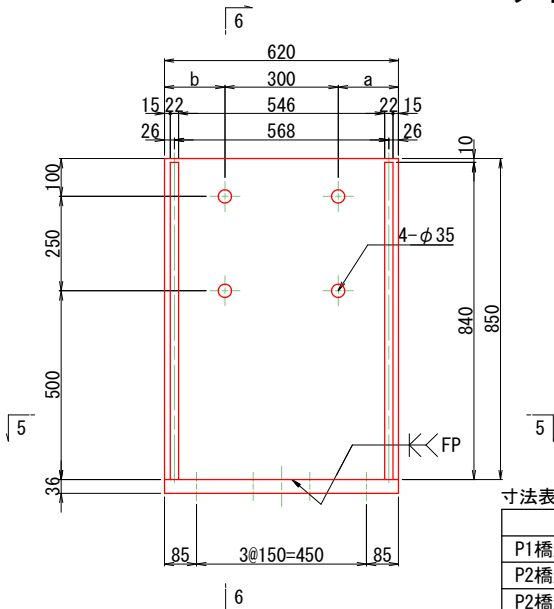
アンカーボルト詳細図

S=1:5



4 - 4

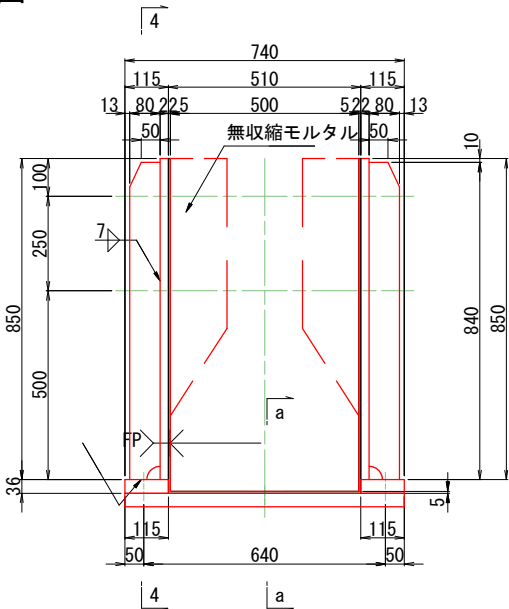
サイドプレート詳細図



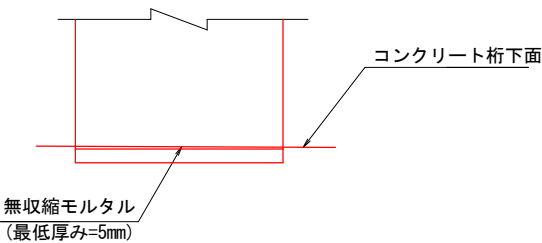
寸法表

	a	b
P1橋脚(終点側)	160	160
P2橋脚(起点側)	160	180
P2橋脚(終点側)	180	160
P5橋脚	180	160
P6橋脚(起点側)	160	180
P6橋脚(終点側)	140	200
P8橋脚(起点側)	140	200
P8橋脚(終点側)	180	160

6 - 6



a - a



ブラケット1基当り (製作数:36基)

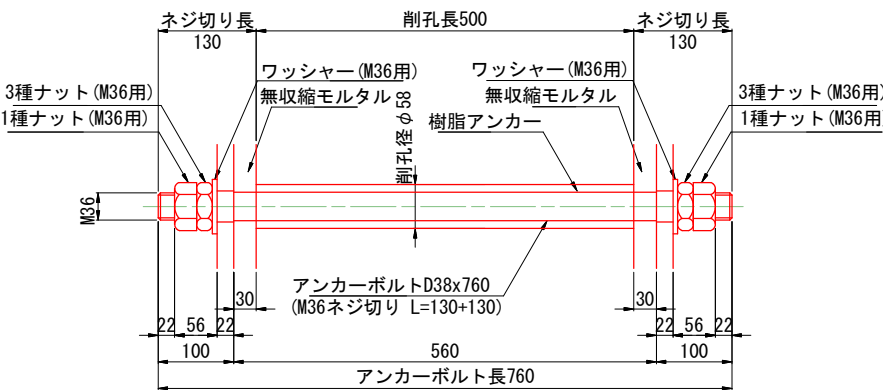
- 2-PL 115x36x620 (SM400B)
- 4-PL 80x22x840
- 2-PL 620x22x850
- 4-Anc. Bolt D38x760 (SD345)
- 8-1種 Nut M36用 (SS400)
- 8-3種 Nut M36用 (SS400)
- 8-Washer M36用 (SS400)

注記)

- 特記なき材質は全てSM400Aとする。
- 特記なきスカーラップは35Rとする。
- 部材は全て溶融垂鉛めっき仕上げとする。
垂鉛の付着量はJIS H 8641 HDZ55とする。
但し、ボルト・ナット類はHDZ35とする。
- 図中詳細寸法は、現地実測の上決定のこと。
- 既設コンクリートへの削孔の際には、鉄筋探索を実施し既設鉄筋は、切断しないこと。
また、既設鉄筋と干渉した場合は、アンカーボルト位置の調整を行うこと。

アンカーボルト詳細図

S=1:5



工事名	令和8年度 橋りょう修繕工事 (羽生路線橋耐震補強工その6)
路線名	主要地方道羽生栗橋線
工事箇所	羽生市中岩瀬地内
図面名	水平力分担構造詳細図(3)
縮尺	S=1:10外 (A1) S=1:20外 (A3)
図面番号	13
18	
埼玉県行田県土整備事務所	

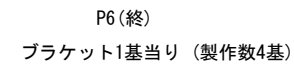
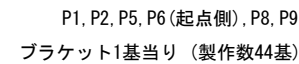
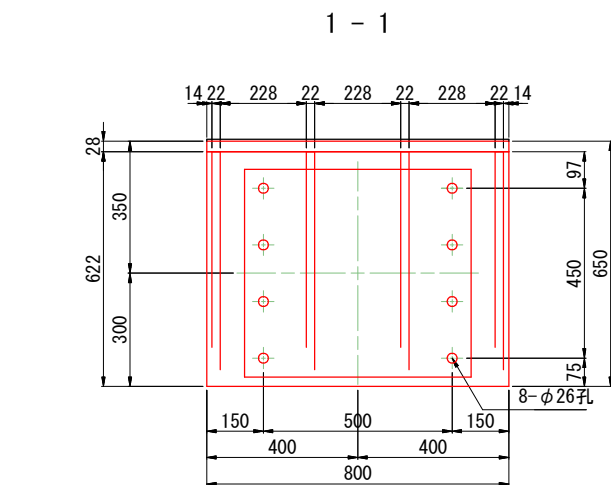
水平力分担構造詳細図(4)

S=1:10

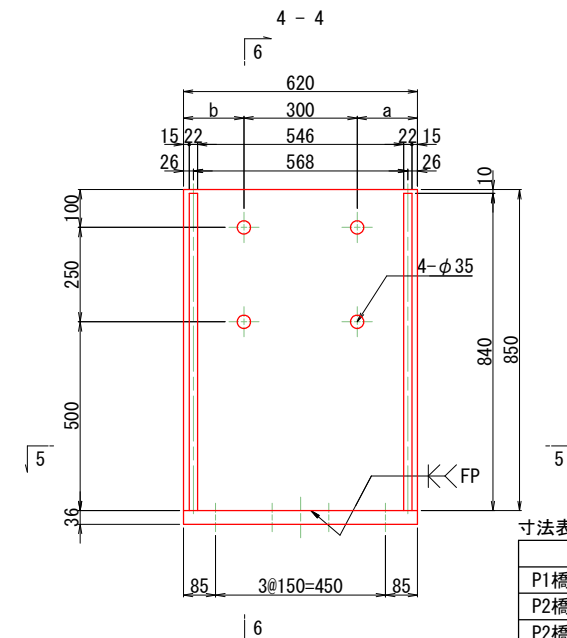
P8, P9 (下り線) : ブラケット詳細図

サイドプレート詳細図

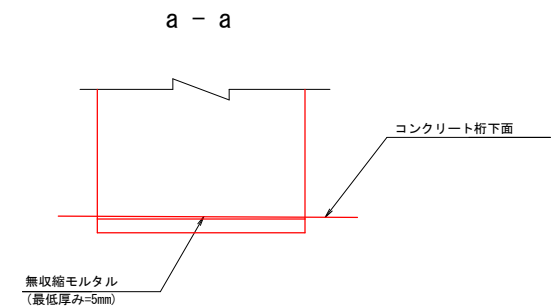
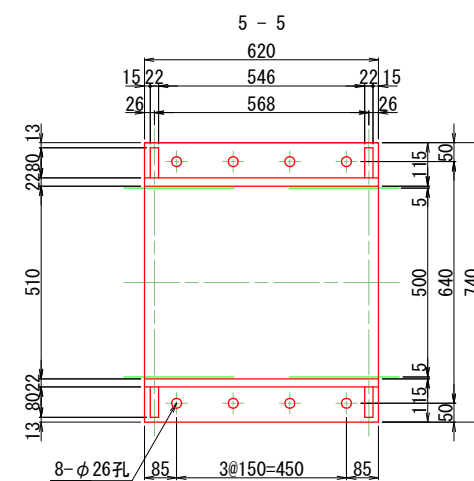
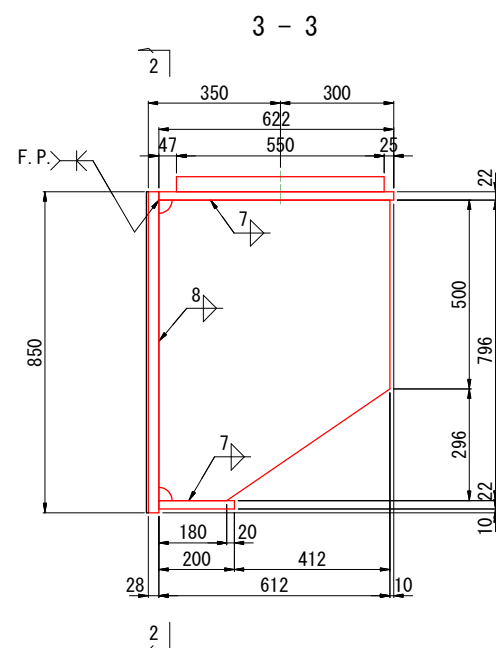
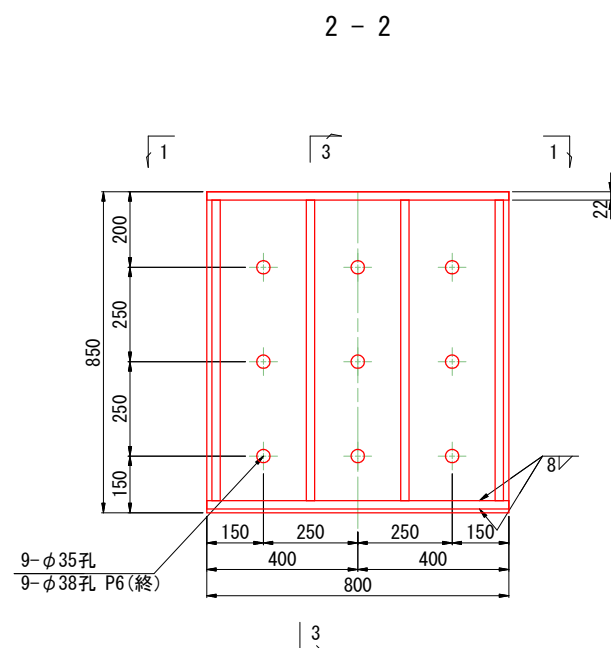
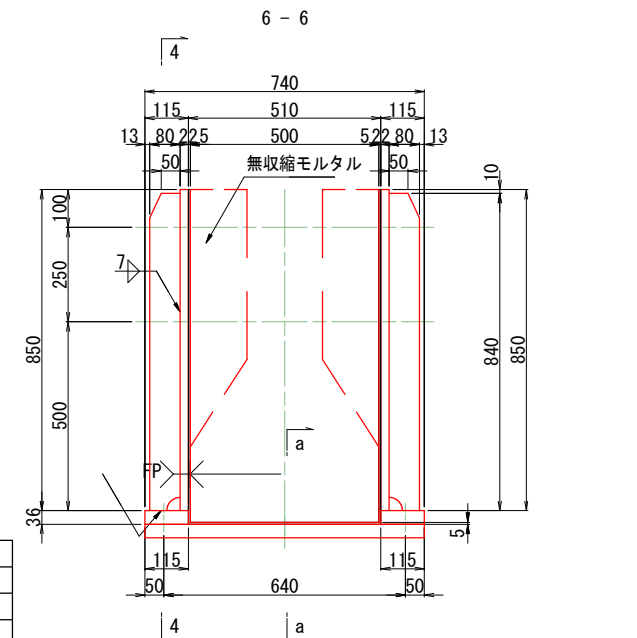
下部エブラケット詳細図



1-PL	850x28x800	1-PL	850x28x800
1-PL	622x22x800	1-PL	622x22x800
1-PL	200x22x800	1-PL	200x22x800
4-PL	612x22x796	4-PL	612x22x796
9-AncBol t	D32x590 (SD345)	9-AncBol t	D35x640 (SD345)
9-1種Nut	M30用 (SS400)	9-1種Nut	M33用 (SS400)
9-3種Nut	M30用 (SS400)	9-3種Nut	M33用 (SS400)
9-Washer	M30用 (SS400)	9-Washer	M33用 (SS400)



	a	b
P1橋脚	160	160
P2橋脚 (起点側)	160	180
P2橋脚 (終点側)	180	160
P5橋脚	180	160
P6橋脚	140	200
P8橋脚 (起点側)	140	200
P8橋脚 (終点側)	180	160
P9橋脚 (起点側)	140	200
P9橋脚 (終点側)	180	160



ブラケット1基当り (製作数:48基)

2-PL 115x36x620 (SM400B)

2-PL 115x36x620 (SM400B)

4-PL 80x22x840

4-PL 80x22x840

2-PL 620x22x850

2-PL 620x22x850

0.1種 木口 M26用

0.1種 木口 M26用

8-3種 Nut M36用

8-3種 Nut M36用

8-Washer M36用

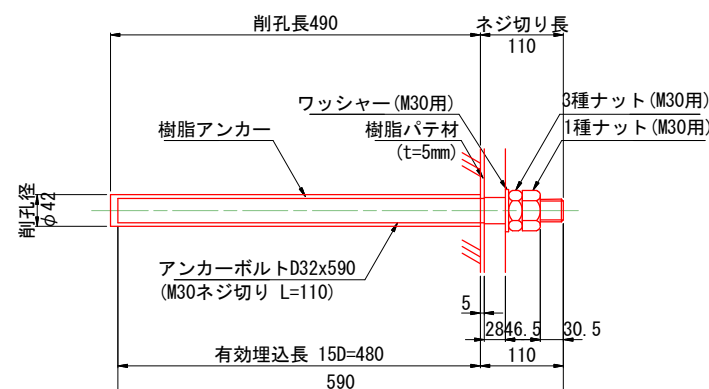
8-Washer M36用

注記)

1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは35Rとする。
3. 部材は全て溶融亜鉛めっき仕上げとする。
亜鉛の付着量はJIS H 8641 HDZ55とする。
但し、ボルト・ナット類はHDZ35とする。
4. 図中詳細寸法は、現地実測の上決定のこと。
5. 既設コンクリートへの削孔の際には、鉄筋探査を実施し既設鉄筋は、切断しないこと。
また、既設鉄筋と干渉した場合は、アンカーボルト位置の調整を行うこと。

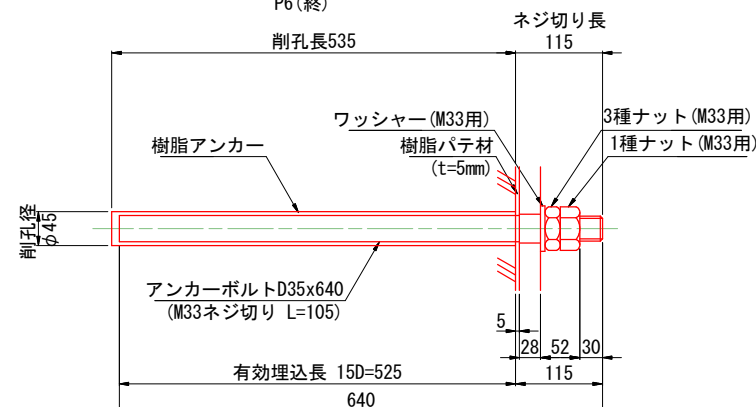
アンカーボルト詳細図 S=1:5

P1, P2, P5, P6 (起点側), P8, P9



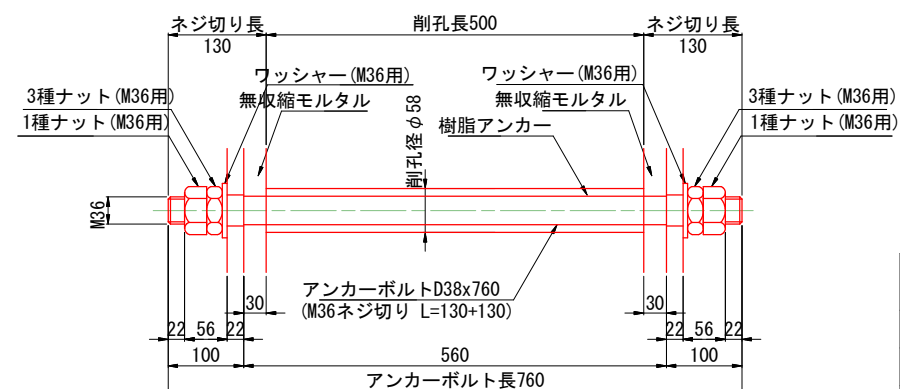
アンカーボルト詳細図 S=1:5

P6 (終)



アンカーボルト詳細図 S=1:5

S=1:5



工 事 名	令和8年度 橋りょう修繕工事 (羽生跨線橋耐震補強工その8)		
路 線 名	主要地方道羽生栗橋線		
工事箇所	羽生市中岩瀬地内		
図 面 名	水平力分担構造詳細図(4)		
縮 尺	S = 1 : 10外 (A1) S = 1 : 20外 (A3)	図面番号	14 / 18
埼玉県行田県土整備事務所			

水平力分担構造詳細図(5) 参考図

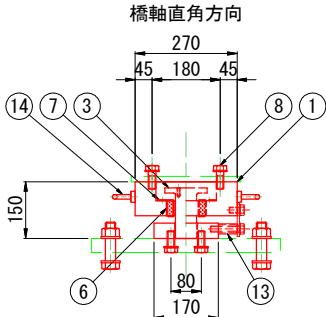
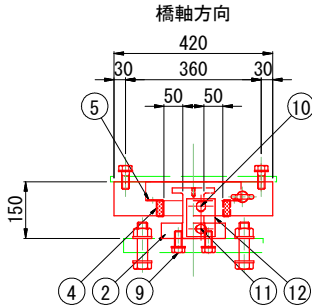
S=1:10

P8, P9(下り線) : SEリミッター (SEL-N230kN, 移動量50mm) 詳細図

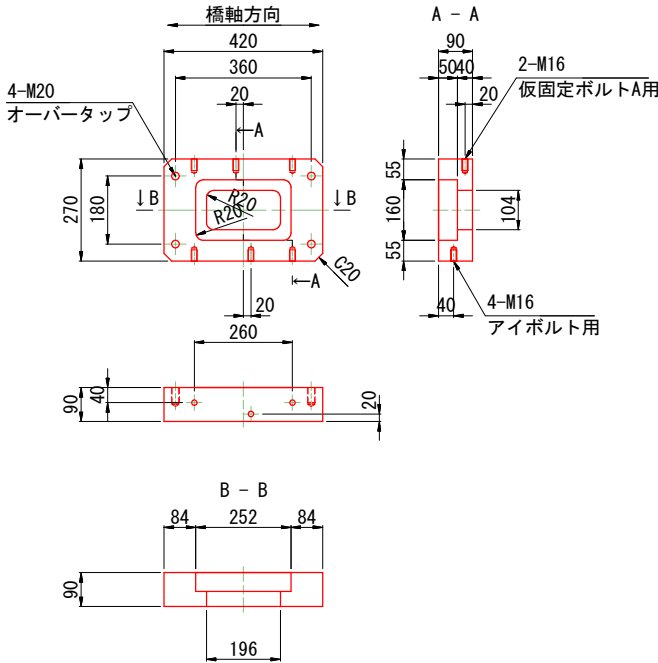
材 料 表 (SEリミッター1基当たり)

部番	名 称	規 格	単位	数量	摘 要
1	ソールプレート	SEL-N230-50	個	1	SM490A:亜鉛アルミ溶射処理
2	リミットピンプレート	SEL-N230用	個	1	SM490A:亜鉛アルミ溶射処理
3	リミットピン	SEL-N230用	本	1	SCM435相当品;ダクロタイズド処理, DMコート
4	バッファーA	SEL-N230用	個	2	クロロブレンゴム
5	バッファーガイドA	SEL-N230用	個	2	SUS
6	バッファーB	SEL-N230用	個	2	クロロブレンゴム
7	バッファーガイドB	SEL-N230用	個	2	SUS
8	セットボルト(上側)	※ M20x60 1W, 1SW付	組	4	強度区分8.8:亜鉛めっき (HDZ35)
9	セットボルト(下側)	※ M20x45 1W付	組	4	強度区分8.8:亜鉛めっき (HDZ35)
納入時用部材					※ボルトの首下長は、締め付ける板厚を確認の上決定すること。
10	仮固定ボルトA				
11	仮固定ボルトB				
12	仮固定プレート				
13	スペーサー				
14	アイボルト				

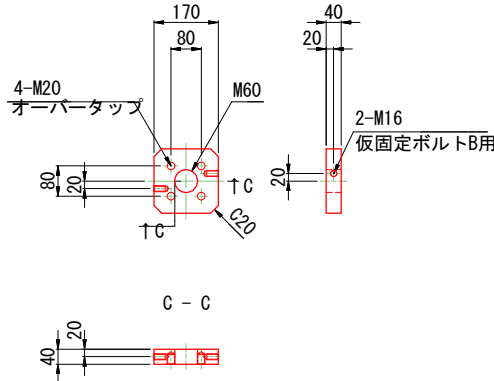
取付詳細図



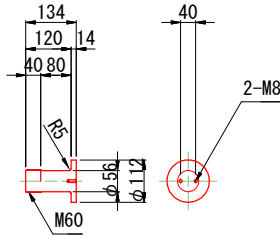
① ソールプレート
(SM490A:亜鉛アルミ溶射処理)



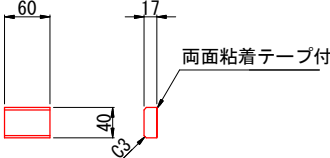
② リミットピンプレート
(SM490A:亜鉛アルミ溶射処理)



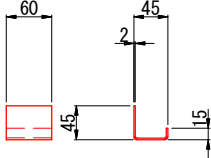
③ リミットピン
(SCM435相当品:DMコート)



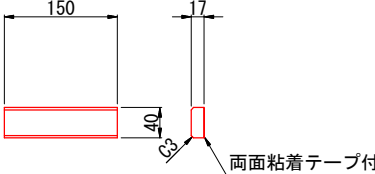
④ バッファーA
(クロロブレンゴム) S=1:5



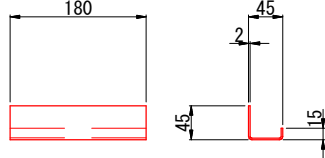
⑤ バッファーガイドA
(SUS) S=1:5



⑥ バッファーB
(クロロブレンゴム) S=1:5



⑦ バッファーガイドB
(SUS) S=1:5



注記)

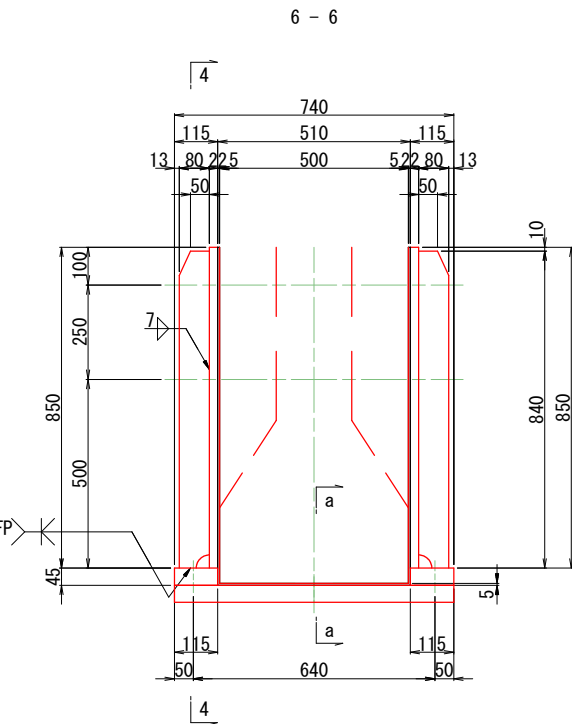
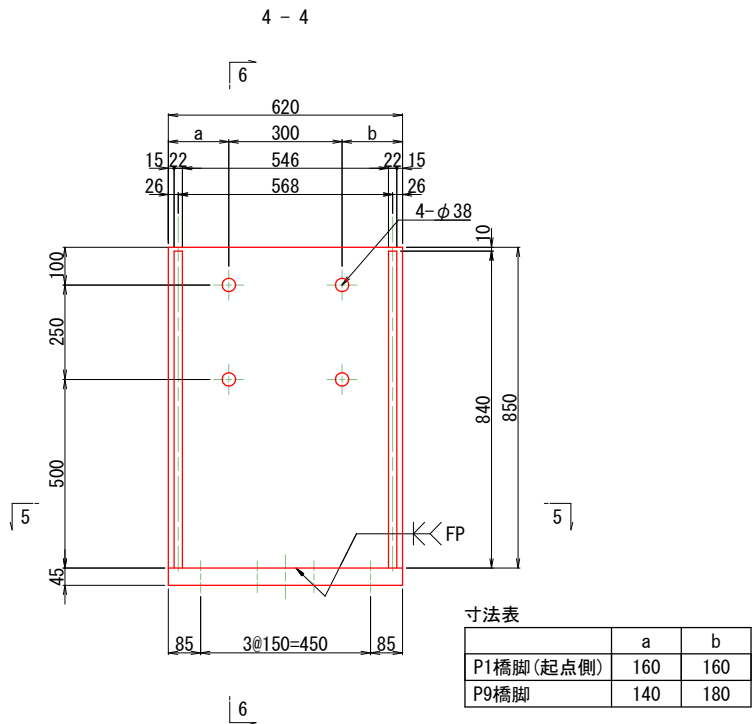
- SEリミッターの納入時組立高さは、取付詳細図に示す製品高+10mm程度とする。
- 据付時は仮固定ボルト他、納入時用部材を取り外し、所定の高さで設置すること。
- 納入時用部材を取り外した後のタップ孔は樹脂ボルトもしくはパテ材で埋めること。

工 事 名	令和8年度 橋りょう修繕工事 (羽生跨線橋耐震補強工その8)
路 線 名	主要地方道羽生栗橋線
工事箇所	羽生市中岩瀬地内
図 面 名	水平力分担構造詳細図(5)参考図
縮 尺	1:10外 (A1) 1:20外 (A3)
図面番号	15
18	
埼玉県行田県土整備事務所	

水平力分担構造詳細図(6) S=1:10

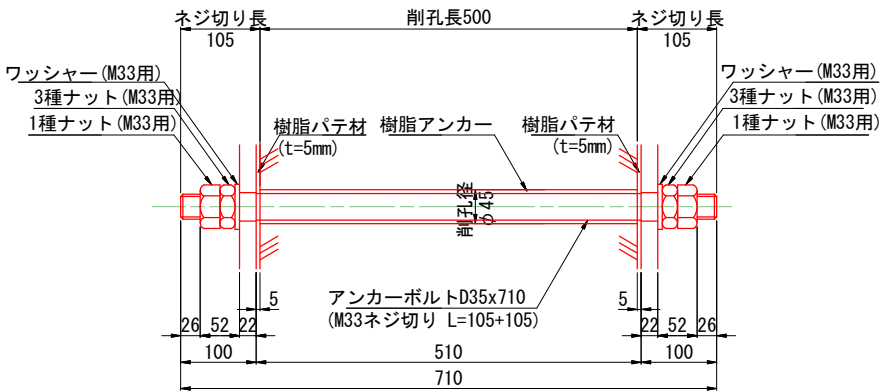
P9橋脚(上り線)：ブラケット詳細図

サイドプレート詳細図



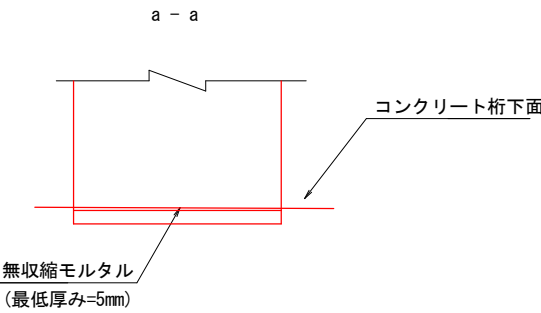
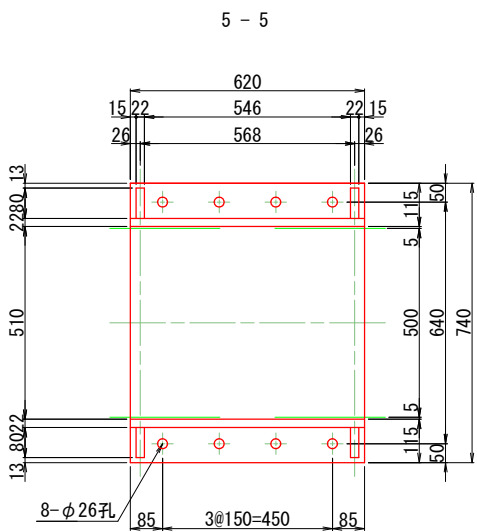
アンカーボルト詳細図

S=1:5



ブラケット1基当り (製作数:12基)

- 4-Anc. Bolt D35x710 (SD345)
- 8-1種 Nut M33用 (SS400)
- 8-3種 Nut M33用 (SS400)
- 8-Washer M33用 (SS400)



ブラケット1基当り (製作数:12基)
2-PL 115x45x620 (SM400C)
4-PL 80x22x840
2-PL 620x22x850

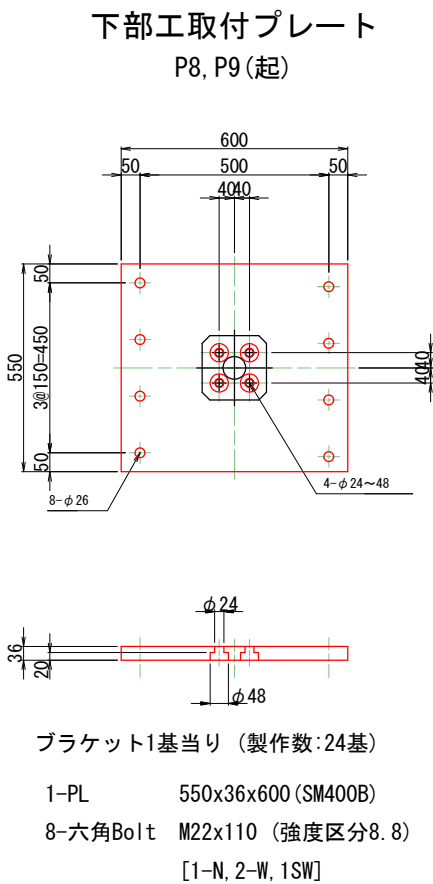
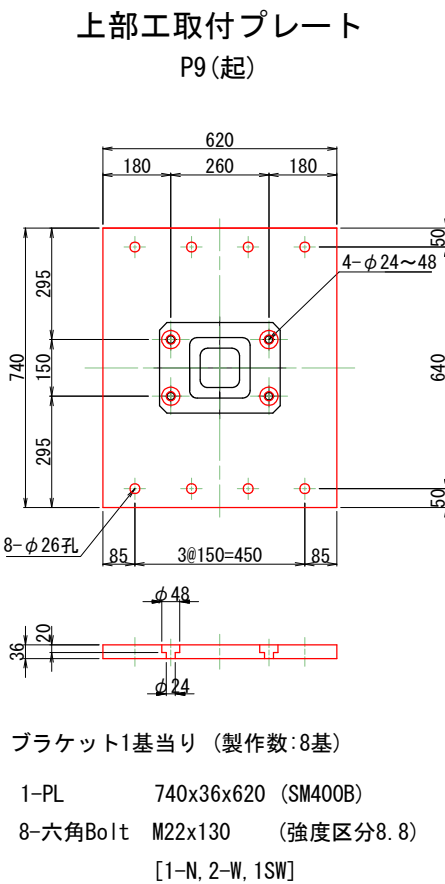
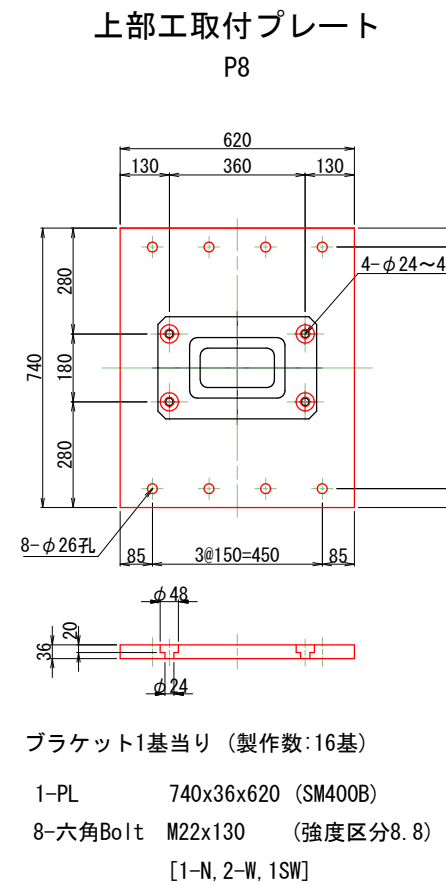
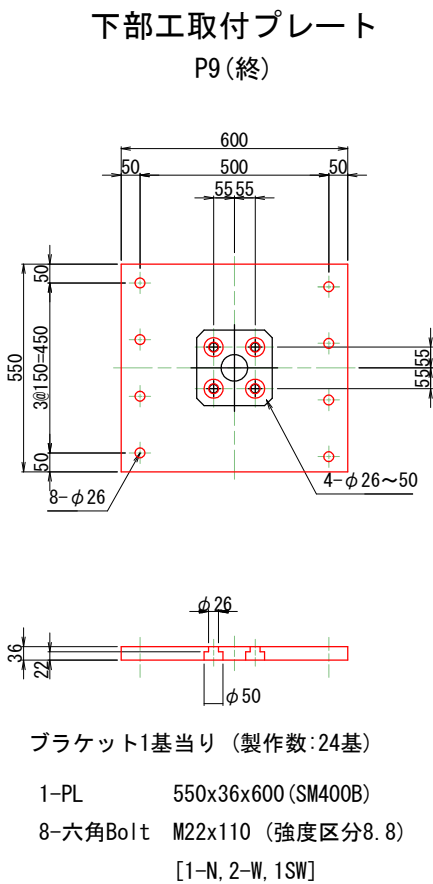
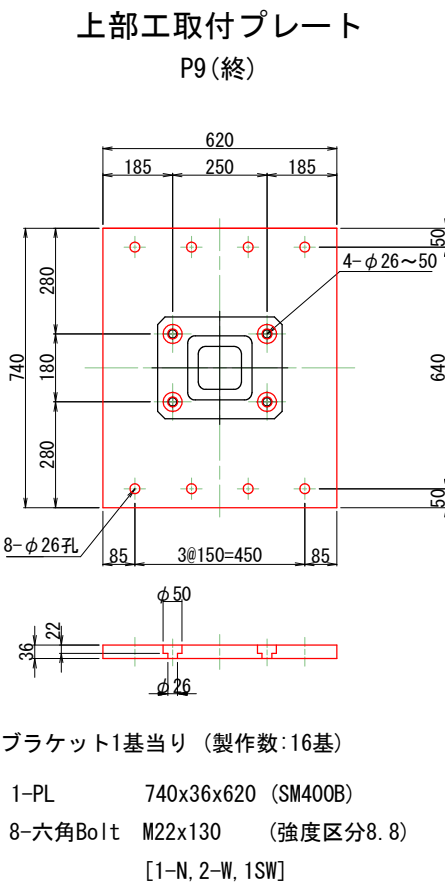
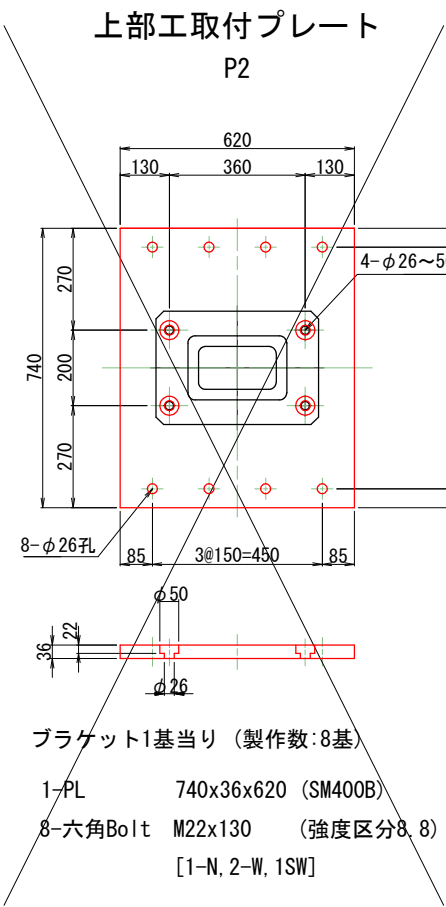
- 注記)
- 特記なき材質は全てSM400Aとする。
 - 特記なきスカーラップは35Rとする。
 - 部材は全て溶融亜鉛めっき仕上りとする。
亜鉛の付着量はJIS H 8641 HDZ55とする。
但し、ボルト・ナット類はHDZ35とする。
 - 図中詳細寸法は、現地実測の上決定のこと。
 - 既設コンクリートへの削孔の際には、鉄筋探査を実施し既設鉄筋は、切断しないこと。
また、既設鉄筋と干渉した場合は、アンカーボルト位置の調整を行うこと。

工事名	令和8年度 橋りょう修繕工事 (羽生跨線橋耐震補強工その8)
路線名	主要地方道羽生栗橋線
工事箇所	羽生市中岩瀬地内
図面名	水平力分担構造詳細図(6)
縮尺	1:10外 (A1) 1:20外 (A3)
図面番号	16
18	
埼玉県行田県土整備事務所	

水平力分担構造詳細図(7)

S=1:10

P8, P9 : 取付プレート詳細図



注記)

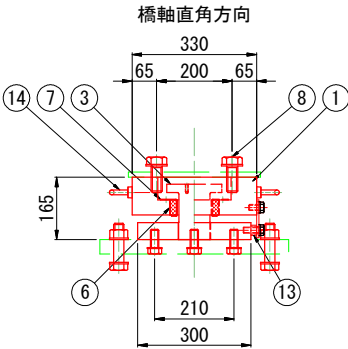
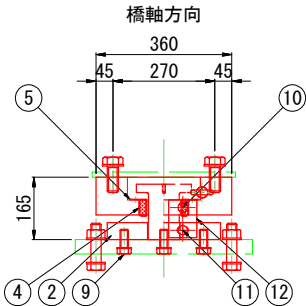
- 特記なき材質は全てSM400Aとする。
- 特記なきスカーラップは35Rとする。
- 部材は全て溶融亜鉛めっき仕上げとする。
垂鉛の付着量はJIS H 8641 HDZ55とする。
但し、ボルト・ナット類はHDZ35とする。
- 図中詳細寸法は、現地実測の上決定のこと。
- 既設コンクリートへの削孔の際には、鉄筋探査を実施し既設鉄筋は、切断しないこと。
また、既設鉄筋と干渉した場合は、アンカーボルト位置の調整を行うこと。

工事名	令和8年度 橋りょう修繕工事 (羽生跨線橋耐震補強工その8)		
路線名	主要地方道羽生栗橋線		
工事箇所	羽生市中岩瀬地内		
図面名	水平力分担構造詳細図(7)		
縮尺	1:10 (A1) 1:20 (A3)	図面番号	17 / 18
埼玉県行田県土整備事務所			

水平力分担構造詳細図(8) 参考図 S=1:10

P9(上り線 終点側) : SEリミッター(SEL-N680kN, 移動量0mm) 詳細図

取付詳細図

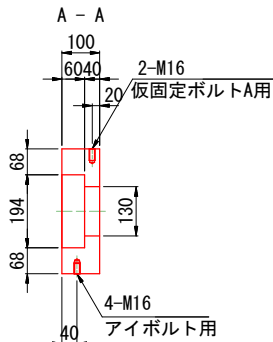
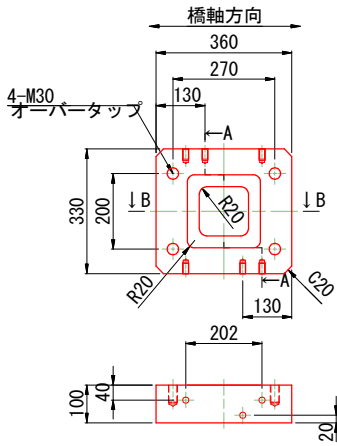


材 料 表 (SEリミッター1基当たり)

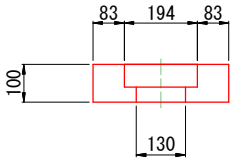
全4基

部番	名 称	規 格	単位	数量	摘 要
1	ソールプレート	SEL-N680-固定	個	1	SM490A:垂鉛アルミ溶射処理
2	リミットピンプレート	SEL-N680用	個	1	SM490A:垂鉛アルミ溶射処理
3	リミットピン	SEL-N680用	本	1	SCM435相当品:ダクロタイズ処理, DMコート
4	バッファーA	SEL-N680用	個	2	クロロプレングム
5	バッファーガイドA	SEL-N680用	個	2	SUS
6	バッファーB	SEL-N680用	個	2	クロロプレングム
7	バッファーガイドB	SEL-N680用	個	2	SUS
8	セットボルト(上側)	※ M30x65 1W, 1SW付	組	4	強度区分8.8:垂鉛めっき (HDZ35)
9	セットボルト(下側)	※ M22x50 1W付	組	8	強度区分8.8:垂鉛めっき (HDZ35)
納入時用部材 ※ボルトの首下長は、締め付ける板厚を確認の上決定すること。					
10	仮固定ボルトA				
11	仮固定ボルトB				
12	仮固定プレート				
13	スペーサー				
14	アイボルト				

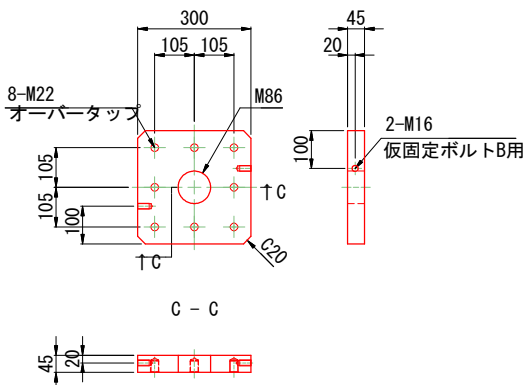
① ソールプレート
(SM490A:垂鉛アルミ溶射処理)



B - B

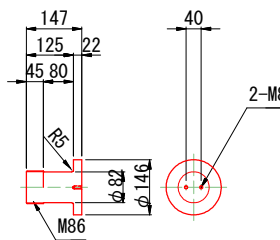


② リミットピンプレート
(SM490A:垂鉛アルミ溶射処理)

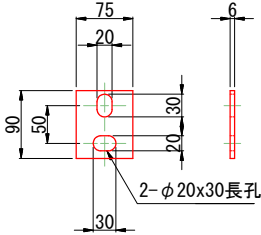


C - C

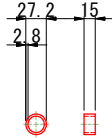
③ リミットピン
(SCM435相当品:DMコート)



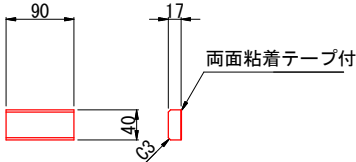
⑫ 仮固定プレート
(SS400:電気めっき) S=1:5



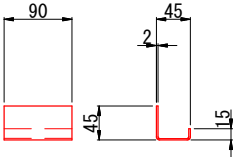
⑬ スペーサー
(SGP20A:溶融垂鉛めっき) S=1:5



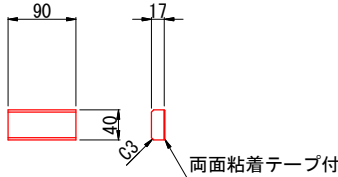
④ バッファーA
(クロロプレングム) S=1:5



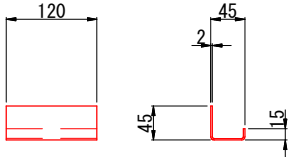
⑤ バッファーガイドA
(SUS) S=1:5



⑥ バッファーB
(クロロプレングム) S=1:5



⑦ バッファーガイドB
(SUS) S=1:5



注記)

- SEリミッターの納入時組立高さは、取付詳細図に示す製品高+10mm程度とする。
- 据付時は仮固定ボルト他、納入時用部材を取り外し、所定の高さに設置すること。
- 納入時用部材を取り外した後のタップ孔は樹脂ボルトもしくはパテ材で埋めること。

工 事 名	令和8年度 橋りょう修繕工事 (羽生跨線橋耐震補強工その8)		
路 線 名	主要地方道羽生栗橋線		
工事箇所	羽生市中岩瀬地内		
図 面 名	水平力分担構造詳細図(8) 参考図		
縮 尺	S=1:10外(A1) S=1:20外(A3)	図面番号	18
埼玉県行田県土整備事務所			